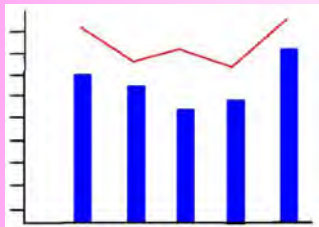
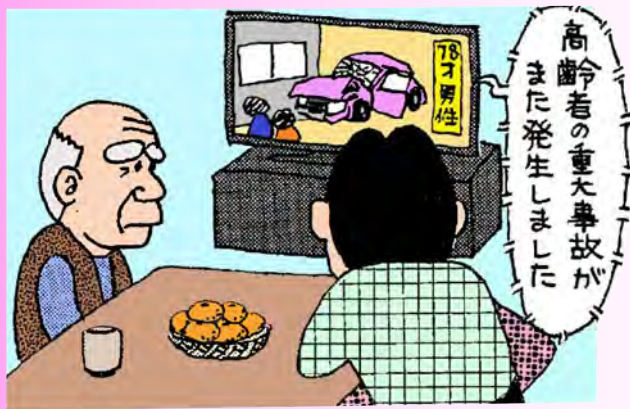


令和3年の交通事故統計

とよたの 交通事故



2022年交通安全市民運動期間

- ☆ 春の交通安全市民運動
4月 6日（水）～ 4月15日（金）
- ☆ 夏の交通安全市民運動
7月11日（月）～ 7月20日（水）
- ☆ 秋の交通安全市民運動
9月21日（水）～ 9月30日（金）
- ☆ 年末の交通安全市民運動
12月 1日（木）～ 12月10日（土）
- ☆ 交通事故死ゼロの日
毎月10日、20日、30日

凡 例（用語説明）

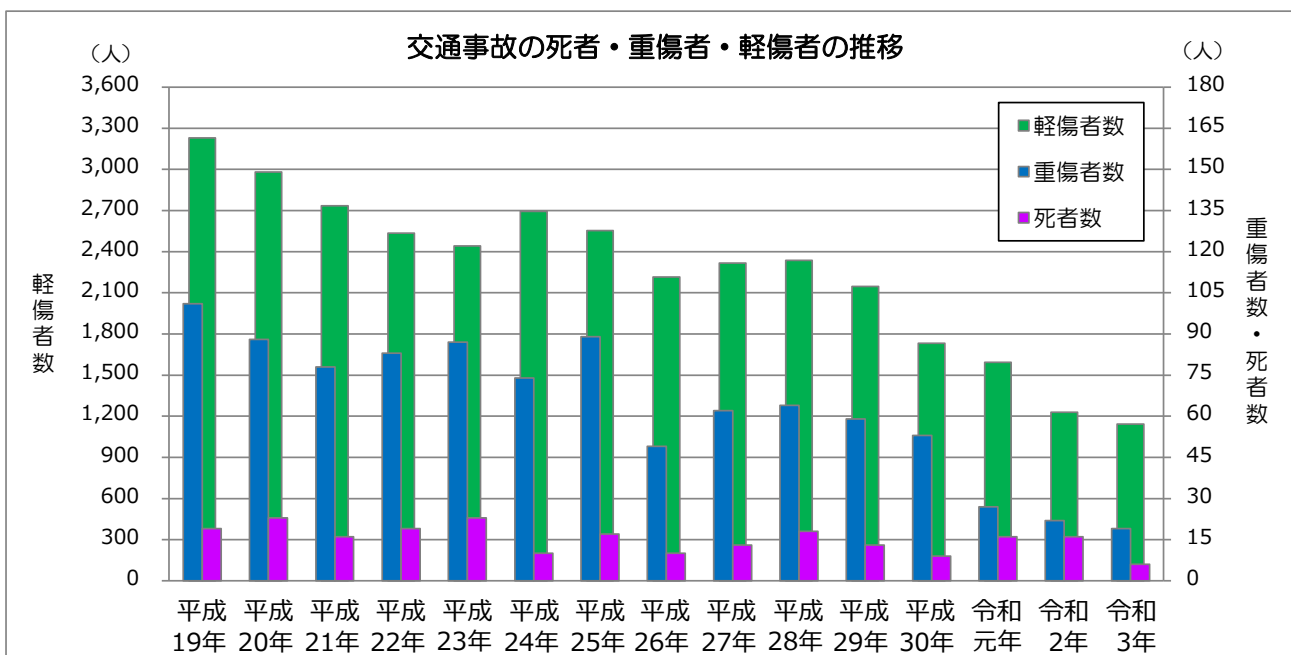
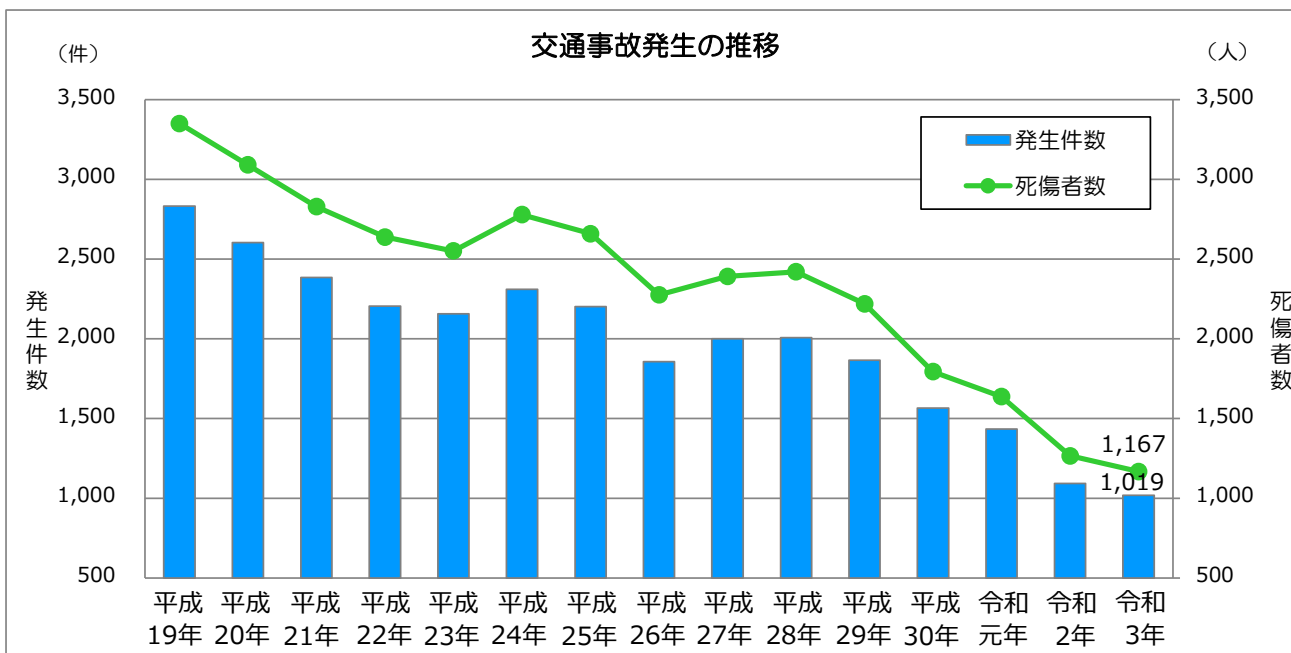
- 事 故・・・交通事故により死傷があった人身事故をいう。
- 死 亡・・・交通事故の発生から24時間以内に死亡したものをいう。
- 重 傷・・・交通事故によって負傷し、30日以上の治療を要するものをいう。
- 軽 傷・・・交通事故によって負傷し、30日未満の治療を要するものをいう。
- 第一当事者・・・交通事故の当事者間で過失がより重い者をいい、過失が同程度の場合は、被害がより小さい者をいう。
- 第二当事者・・・交通事故の当事者間で過失がより軽い者をいい、過失が同程度の場合は、被害がより大きい者をいう。
- 同 乗 者・・・車両等及び列車に同乗し、死傷した者をいう。
- 大 交 差 点・・・交差する道路幅員がそれぞれ13メートル以上ある交差点をいう。
- 中 交 差 点・・・交差道路の狭い方の道路幅員が5.5メートル以上13メートル未満である交差点をいう。
- 小 交 差 点・・・交差道路の狭い方の道路幅員が5.5メートル未満である交差点をいう。
- 交差点付近・・・交差点の側端から30メートル以内の部分をいう。
- こ ど も・・・年齢が15歳以下の者をいう。
- 若 者・・・年齢が16歳以上24歳以下の者をいう。
- 一 般・・・年齢が25歳以上64歳以下の者をいう。
- 高 齢 者・・・年齢が65歳以上の者をいう。
- 朝・・・午前6時台から午前8時台までの時間をいう。
- 昼 前・・・午前9時台から午前11時台までの時間をいう。
- 昼 過 ぎ・・・午後0時台から午後3時台までの時間をいう。
- 夕 方・・・午後4時台から午後5時台までの時間をいう。
- 前 夜・・・午後6時台から午後9時台までの時間をいう。
- 中 夜・・・午後10時台から午後11時台までの時間をいう。
- 深 夜・・・午前0時台から午前3時台までの時間をいう。
- 早 朝・・・午前4時台から午前5時台までの時間をいう。

目 次

1 豊田市の交通事故発生の推移	1
2 豊田市の交通事故発生概要	
(1)令和3年の交通事故発生状況	2
(2)月別発生状況	3
(3)当事者別発生状況	4
(4)時間帯別発生状況	5
(5)年齢別発生状況	6
(6)車道幅員別発生状況	7
(7)道路形状別発生状況	8
(8)事故類型別発生状況	9
(9)交通事故多発信号交差点（平成28年～令和2年：件数）	11
(10)交通事故多発信号交差点詳細	12
(11)交通事故死者数ワースト記録の推移	15
(12)交通関係指標の推移	15
3 愛知県内各市の交通事故発生状況	16
4 豊田市の令和3年の死亡事故	
(1)死亡事故位置図	17
(2)死亡事故一覧表（6件、6人）	18
5 豊田市の小学校区別交通事故	
(1)発生状況分布図	20
(2)発生状況一覧表	21
6 豊田市の自転車交通事故	
(1)年齢別発生状況	23
(2)時間帯別発生状況	24
(3)道路形状別発生状況	24
7 豊田市の高齢者（65歳以上）の交通事故	
(1)発生状況の推移	25
(2)時間帯別発生状況	26
(3)交通手段別発生状況	26

※本統計において構成率、指数に用いる数字の端数は四捨五入している。
したがって、構成率の合計の数字と内訳の合計が一致しない場合がある。
※一部のデータは速報のものを用いているため、前後間で合致しないことがある。
※事故データは、愛知県警察本部と豊田・足助警察署からの提供資料に基づく。
そのため、高速道路での事故は含まない。

1 豊田市の交通事故発生の推移



区分	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
発生件数	2,832	2,603	2,385	2,205	2,156	2,311	2,202	1,857	2,000	2,006	1,866	1,565	1,435	1,093	1,019
指数	100	92	84	78	76	82	78	66	71	71	66	55	51	39	36
死傷者数	3,350	3,091	2,829	2,638	2,551	2,779	2,659	2,275	2,392	2,420	2,219	1,794	1,637	1,266	1,167
死者数	19	23	16	19	23	10	17	10	13	18	13	9	16	16	6
重傷者数	101	88	78	83	87	74	89	49	62	64	59	53	27	22	19
軽傷者数	3,230	2,980	2,735	2,536	2,441	2,695	2,553	2,216	2,317	2,338	2,147	1,732	1,594	1,228	1,142

※指数は平成19年を100とする。

2 豊田市の交通事故発生概要

(1) 令和3年の交通事故発生状況

令和3年に発生した交通事故は、人身事故件数が1,019件、死者数が6人、負傷者数が1,161人であった。

これを前年と比較すると、人身事故件数では74件(6.8%)減少し、死者数では10人(62.5%)減少し、負傷者数では89人(7.1%)減少した。

① 1日平均の交通事故発生数

人身事故件数……………2.8件
 死者数……………0.02人
 負傷者数……………3.2人

② 時間的発生間隔

人身事故件数……………8時間35分48秒
 死者数……………1460時間 0分 0秒 (60日20時間 0分 0秒)
 負傷者数……………7時間32分43秒

事故区分	令和3年	令和2年	前年対比		
			増減数	増減率(%)	
人身事故件数	1,019	1,093	△74	△6.8	
死者数	6	16	△10	△62.5	
負傷者数	計	1,161	1,250	△89	△7.1
	重傷者数	19	22	△3	△13.6
	軽傷者数	1,142	1,228	△86	△7.0

人口10万人当たりの死者数比較表

地域 年	全国		愛知県		豊田市	
	死者(人)	人口10万人当たりの死者数(人)	死者(人)	人口10万人当たりの死者数(人)	死者(人)	人口10万人当たりの死者数(人)
平成29年	3,694	2.9	200	2.7	13	3.1
平成30年	3,532	2.8	189	2.5	9	2.1
令和元年	3,215	2.6	156	2.1	16	3.8
令和2年	2,839	2.3	154	2.0	16	3.8
令和3年	2,636	2.1	117	1.6	6	1.4

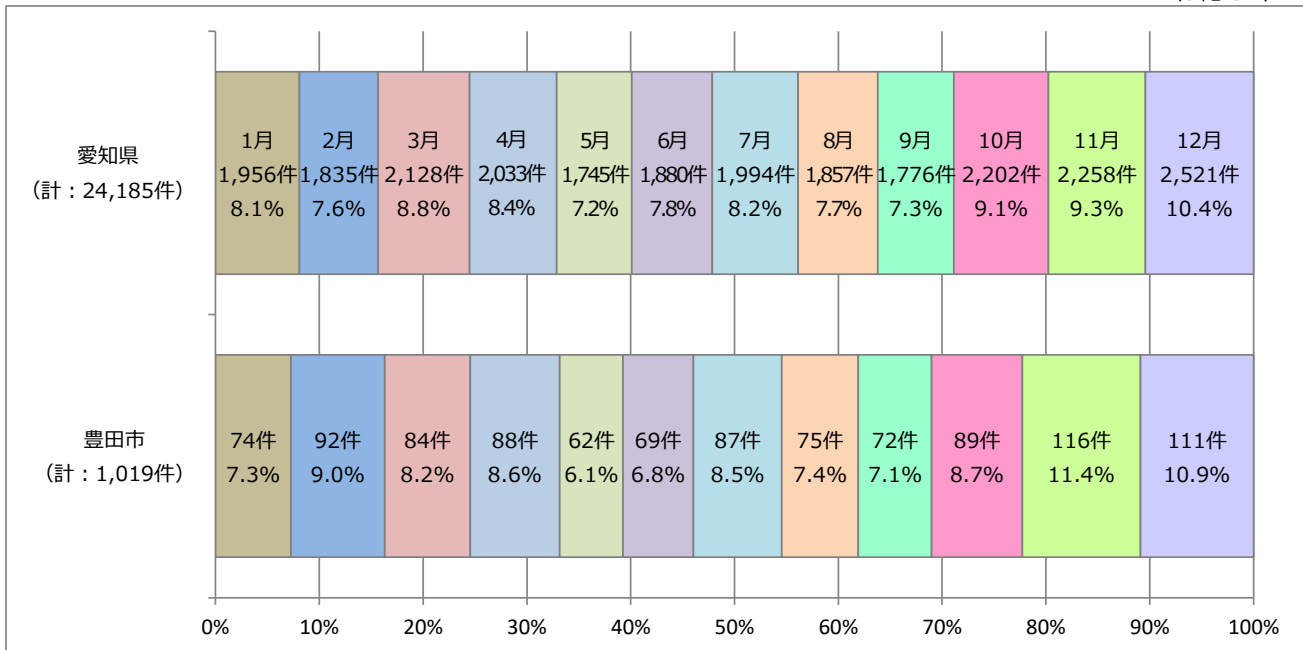
令和3年の豊田市の人口10万人当たりの死者数は、全国・愛知県より少ない。

※人口データ出典：「人口推計」(総務省)および「あいちの人口」(愛知県)

(2) 月別発生状況

① 月別件数

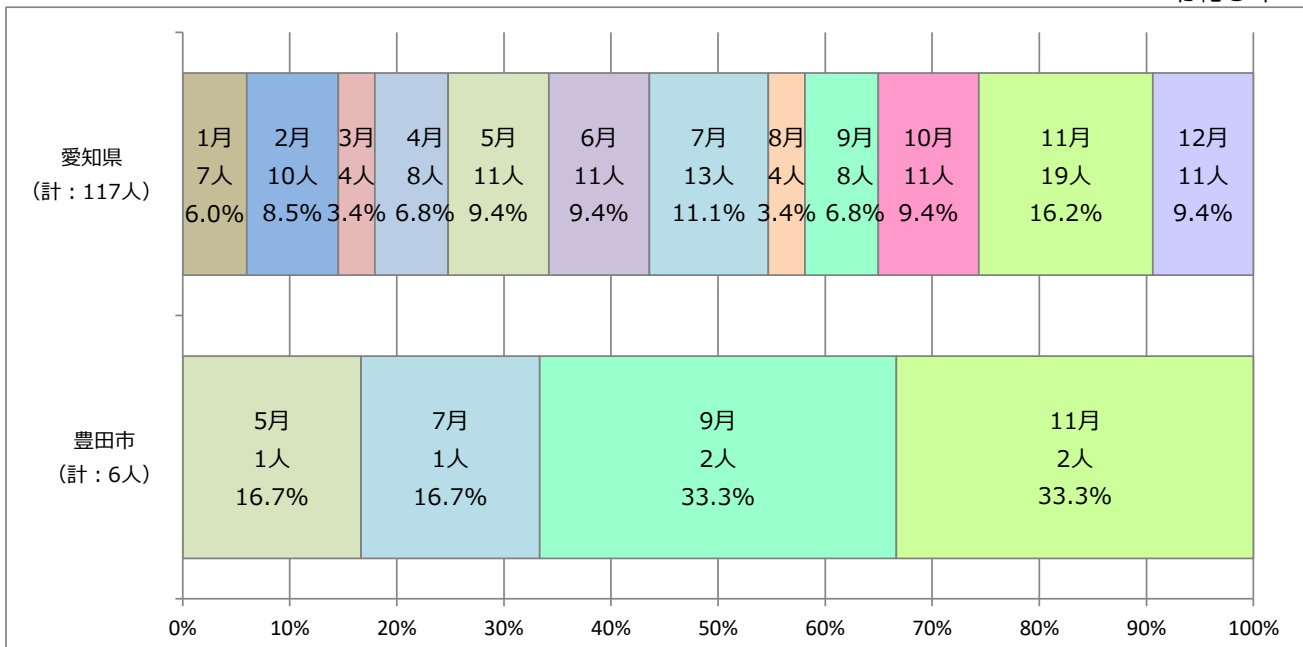
令和3年



愛知県・豊田市ともに11月、12月が多く、5月が少ない。

② 月別死者数

令和3年



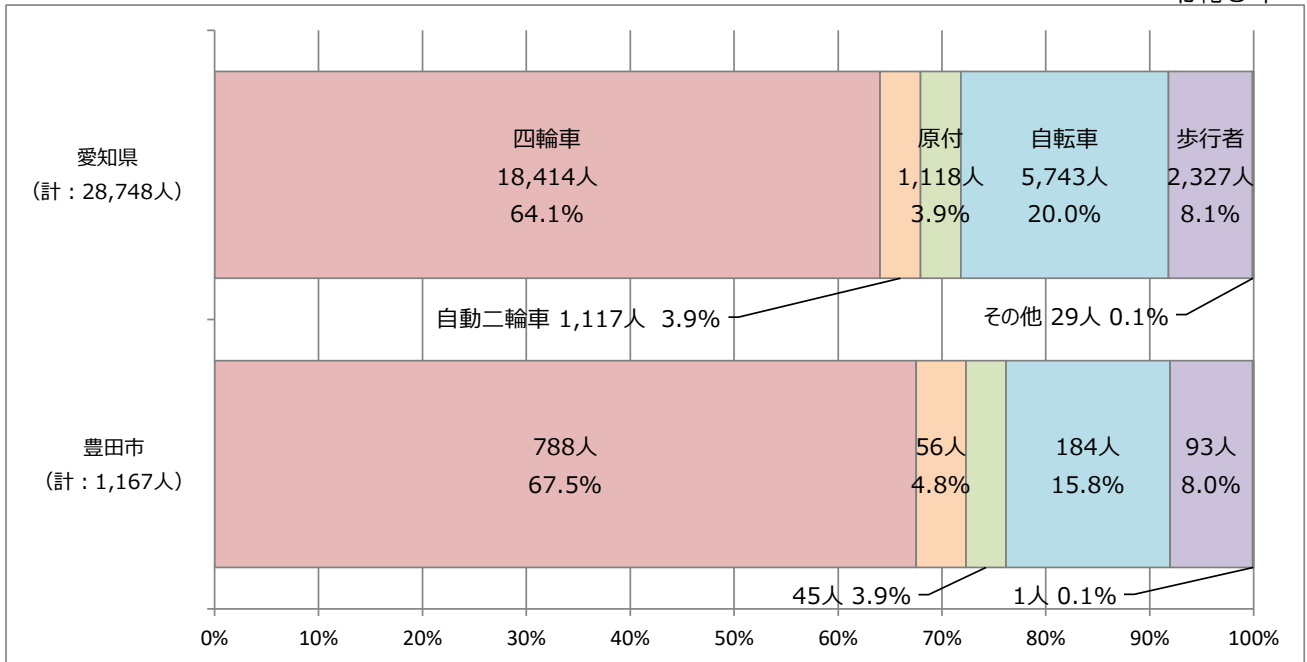
愛知県・豊田市ともに、11月が多い。

※月別件数・月別死者数は、計上日に基づく。

(3) 当事者別発生状況

① 当事者別死傷者数

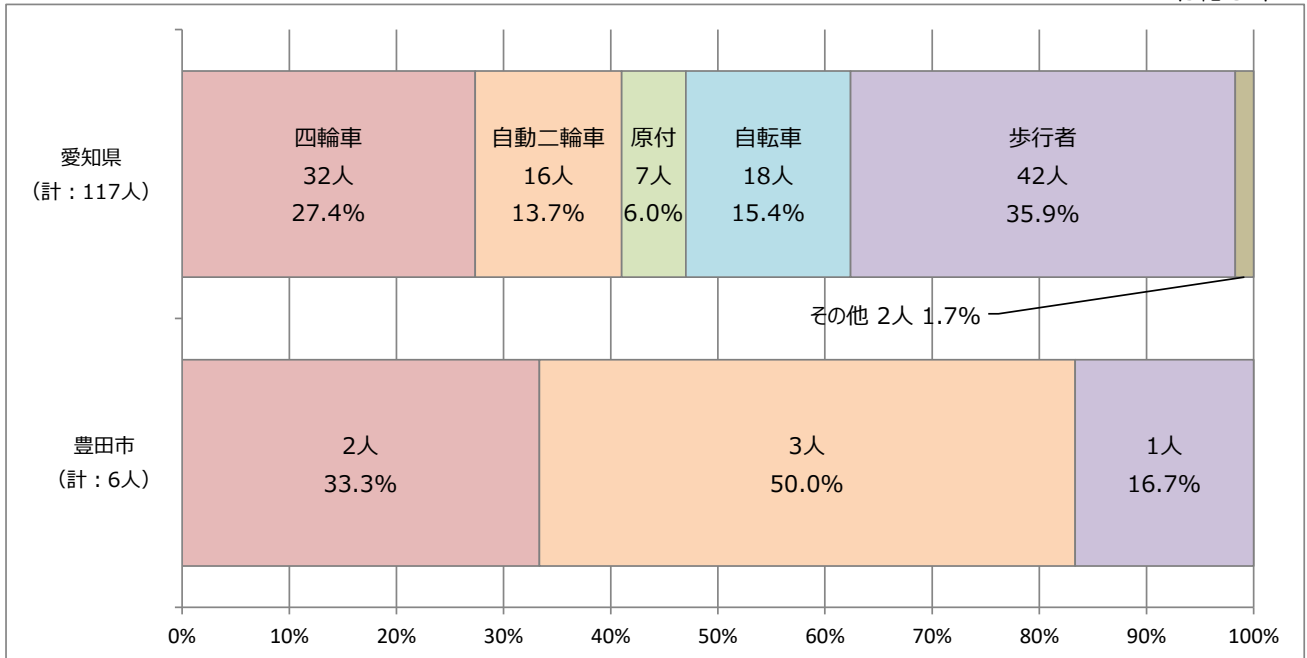
令和3年



愛知県・豊田市の死傷者数は、ともに四輪車が最も多く、次いで自転車が多い。
愛知県と比較すると、四輪車や自動二輪車の割合が高く、自転車や歩行者の割合が低い。

② 当事者別死者数

令和3年

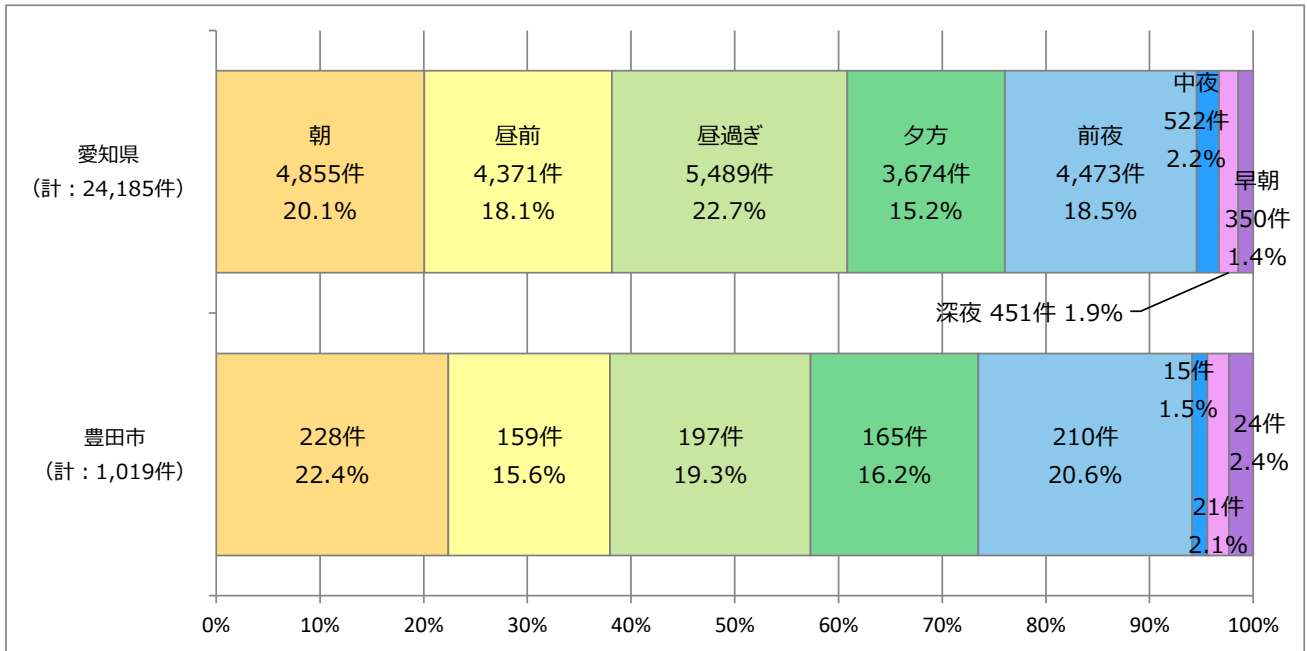


死者数が最も多いのは、愛知県では歩行者、豊田市では自動二輪車である。
豊田市の死者数は、愛知県と比較して四輪車・自動二輪車の割合が高い。

(4) 時間帯別発生状況

① 時間帯別件数

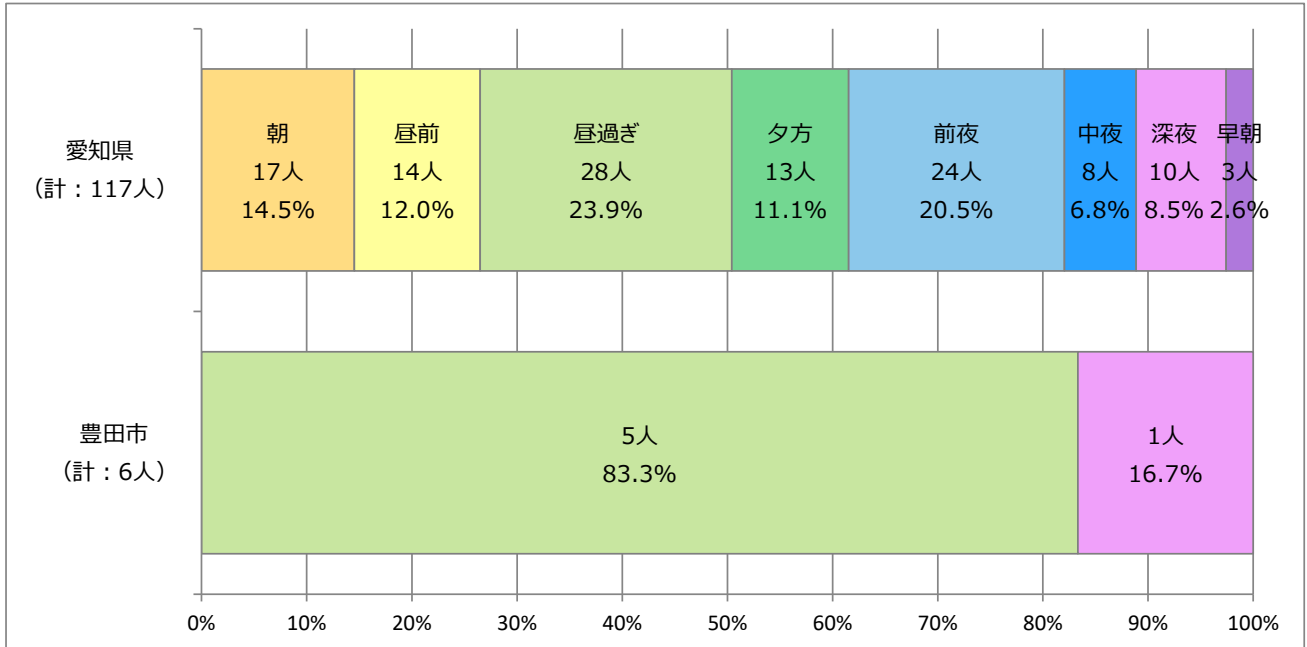
令和3年



愛知県・豊田市ともに朝、昼過ぎ、前夜に事故が多い。

② 時間帯別死者数

令和3年



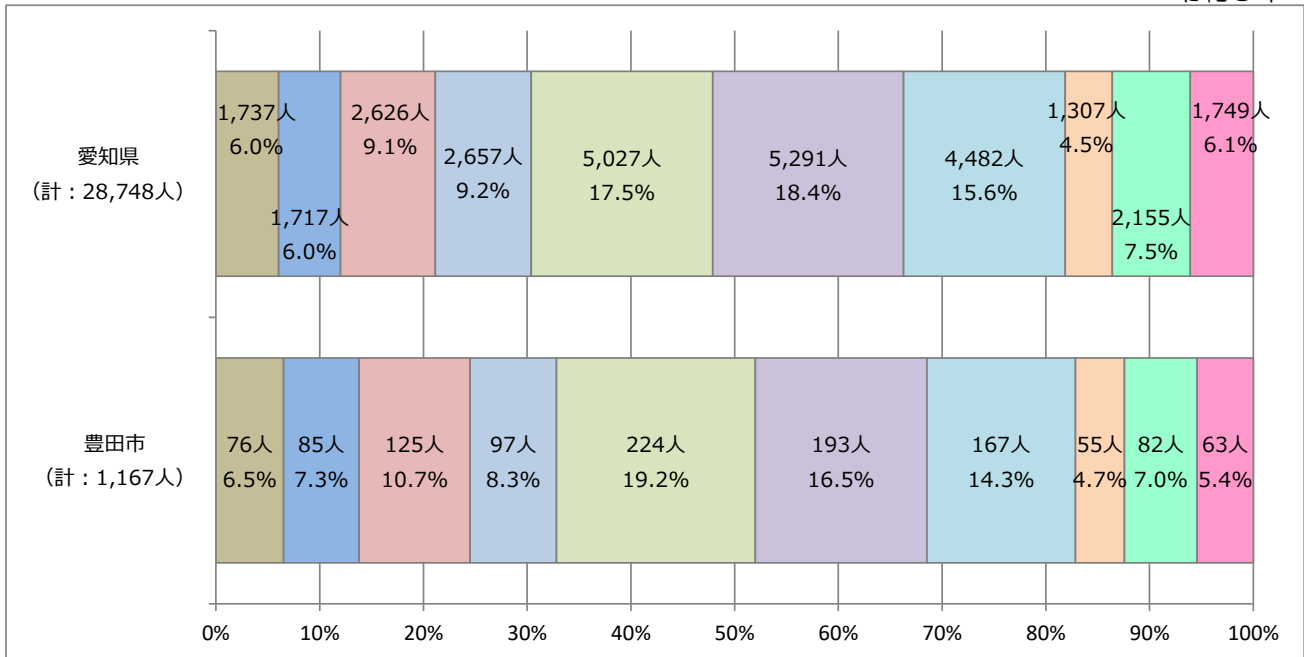
愛知県・豊田市ともに昼過ぎが最も多い。

※時間帯は、朝（午前6時台～午前8時台）、昼前（午前9時台～午前11時台）、昼過ぎ（午後0時台～午後3時台）、夕方（午後4時台～午後5時台）、前夜（午後6時台～午後9時台）、中夜（午後10時台～午後11時台）、深夜（午前0時台～午前3時台）、早朝（午前4時台～午前5時台）を示す。

(5) 年齢別発生状況

① 年齢別死傷者数

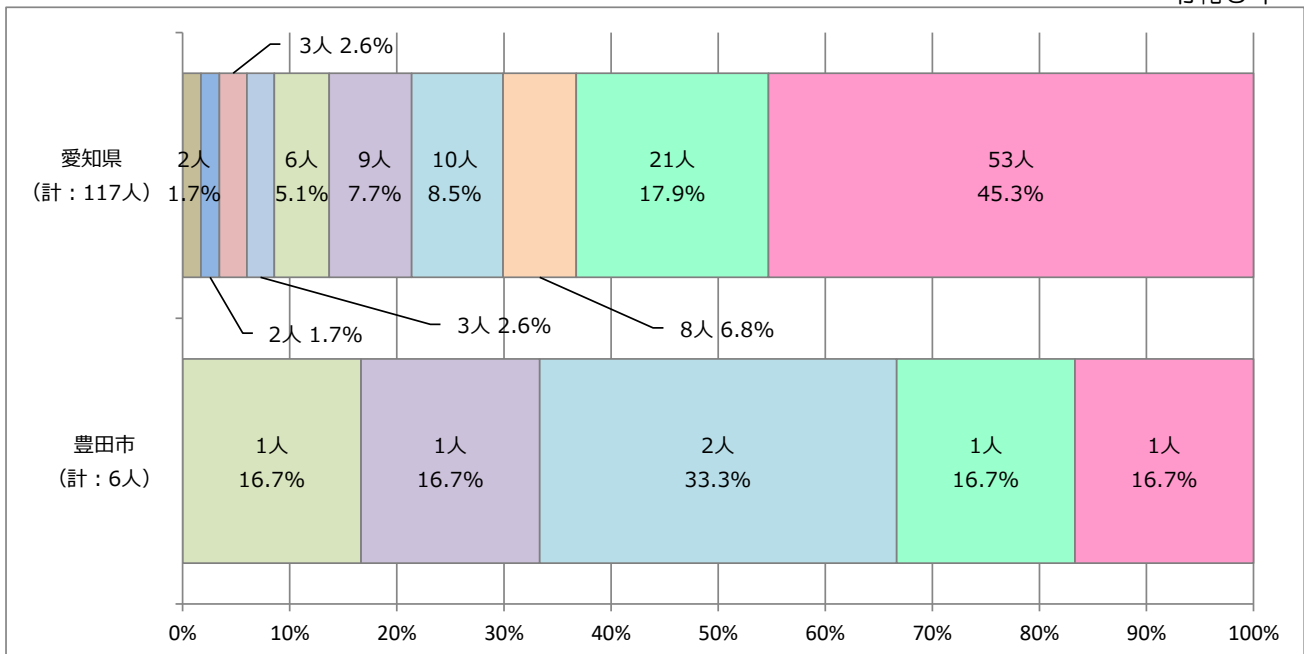
令和3年



愛知県・豊田市の死傷者数はともに 20~50 歳代が多い。

② 年齢別死者数

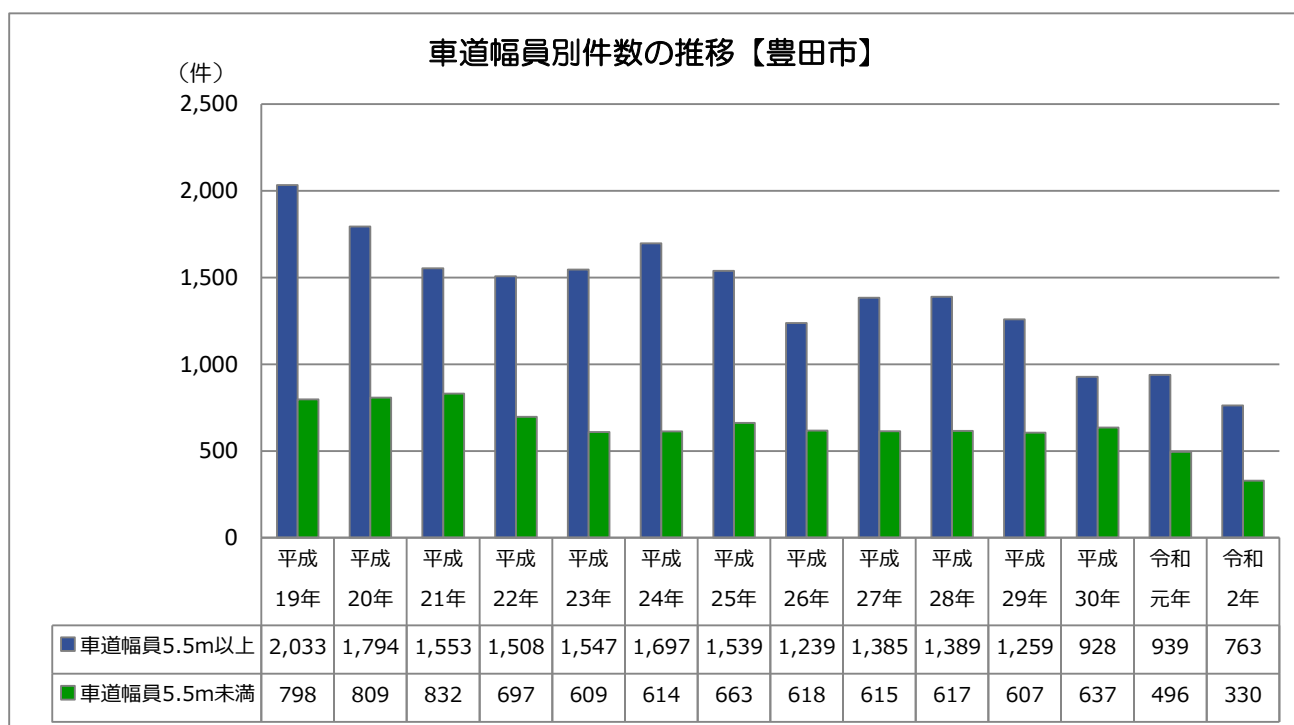
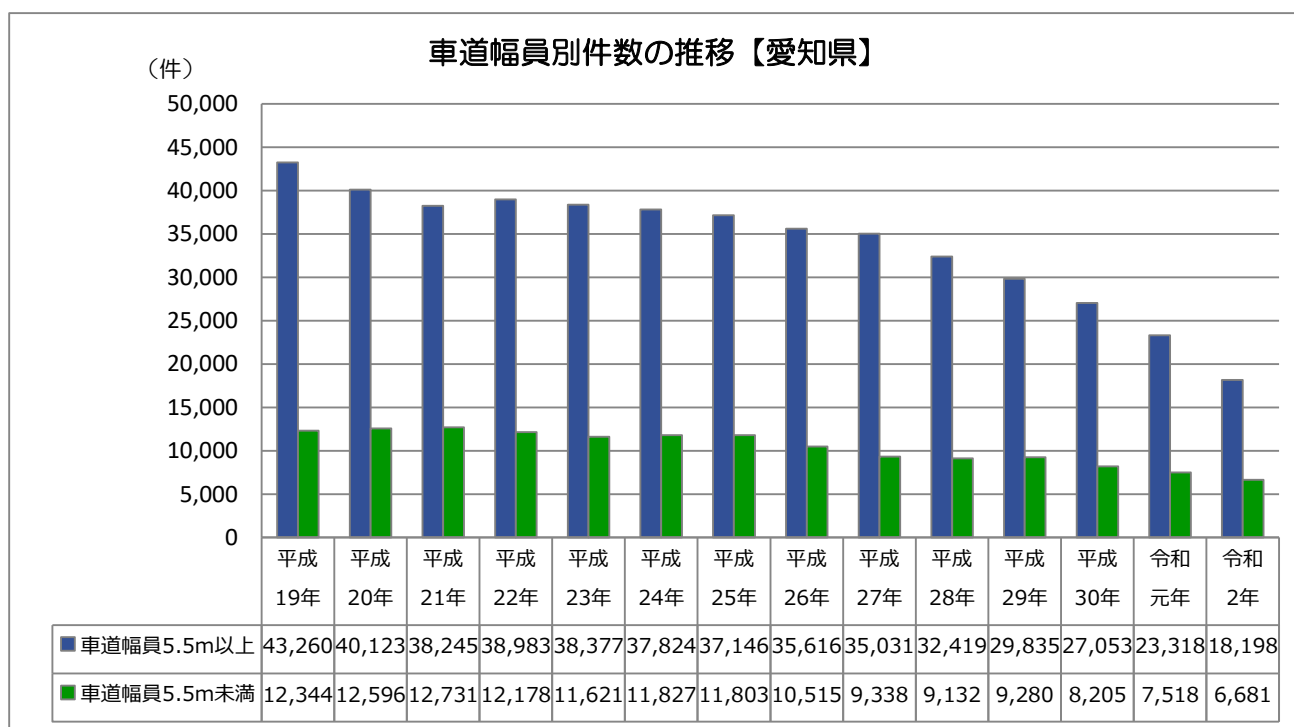
令和3年



愛知県の死者数は 75 歳以上の高齢者が多く、豊田市の死者数は 50 歳代が多い。

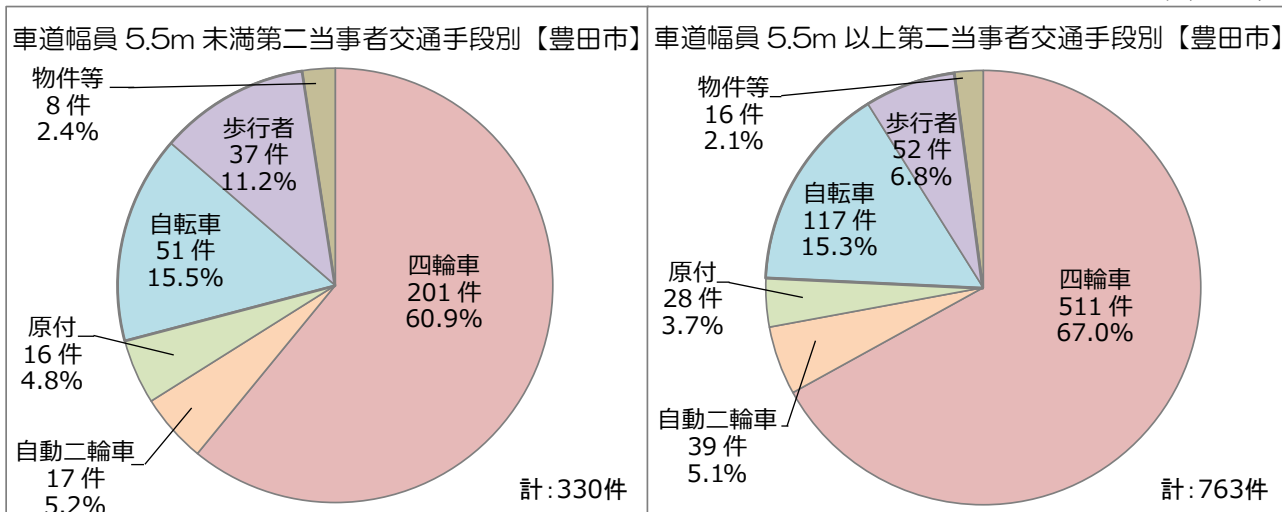
※①②の年齢区分は、■は 0~15 歳、■は 16~19 歳、■は 20~24 歳、■は 25~29 歳、■は 30~39 歳、■は 40~49 歳、■は 50~59 歳、■は 60~64 歳、■は 65~74 歳、■は 75 歳以上を示す。

(6) 車道幅員別発生状況



平成19年から令和2年までの14年間で、幅員5.5m以上の道路における事故件数は愛知県では58%減、豊田市では62%減と大幅に減少している。幅員5.5m未満の道路における事故件数は、愛知県では46%減、豊田市では59%減となっており、幅員5.5m以上の道路に比べて、減少割合が小さい。

※愛知県の平成19～23年は平成24年に行われた事故件数見直し前の値であるが、誤差は僅かであり全体の傾向に影響はない。また、5.5m未満の道路の集計値には「その他（広場等）」の発生件数も含まれている。



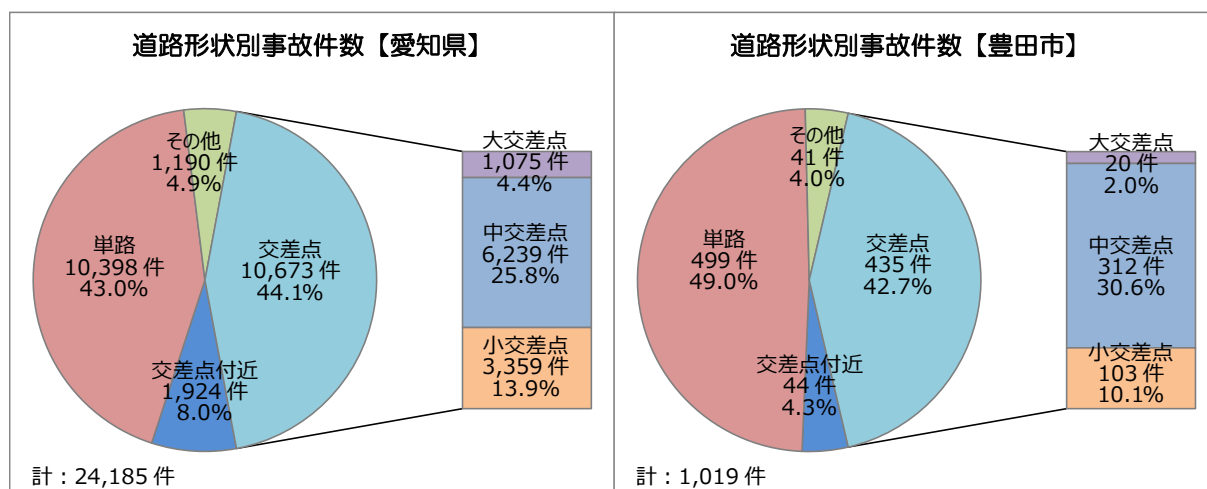
第二当事者の自転車・歩行者は車道幅員 5.5m未満での割合が高い。



豊田市では幅員 5.5m 未満の生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域（ゾーン）を定めて時速 30 キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策「ゾーン 30」を進めている。

※生活道路・・・主として地域住民の日常生活に利用される道路で、自動車の通行よりも歩行者・自転車の安全確保が優先されるべき道路。

(7) 道路形状別発生状況

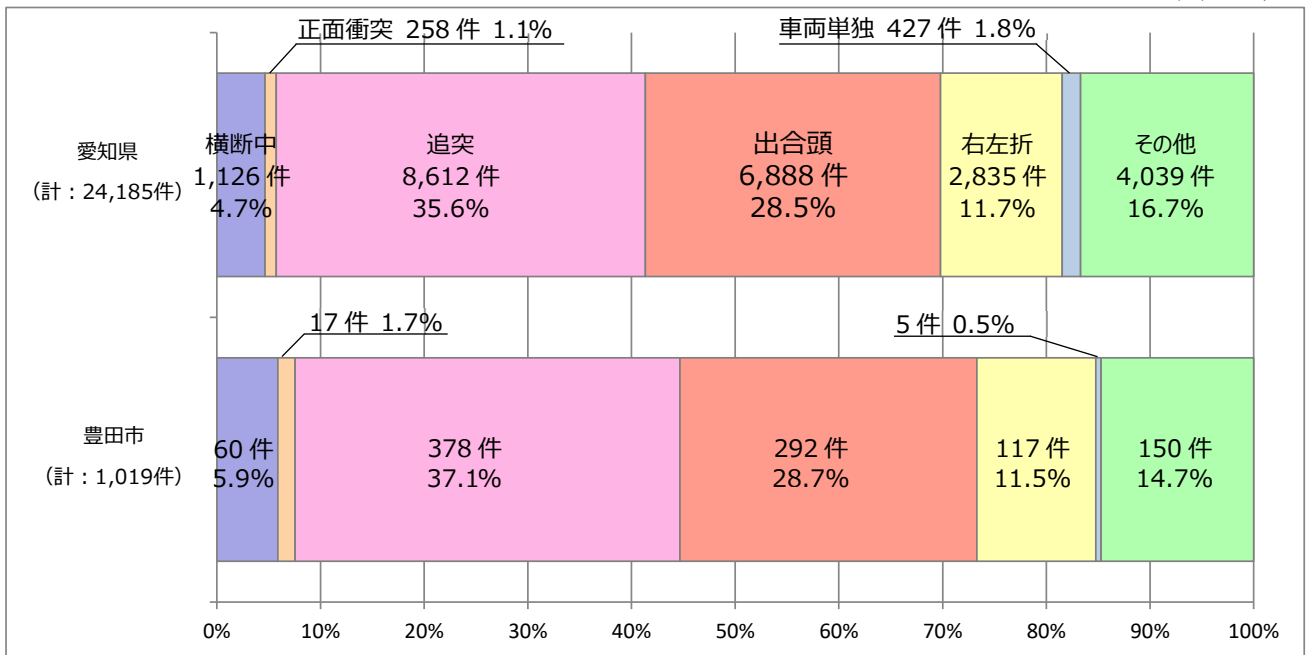


愛知県・豊田市ともに交差点、単路での事故が多い。

(8) 事故類型別発生状況

① 事故類型別件数

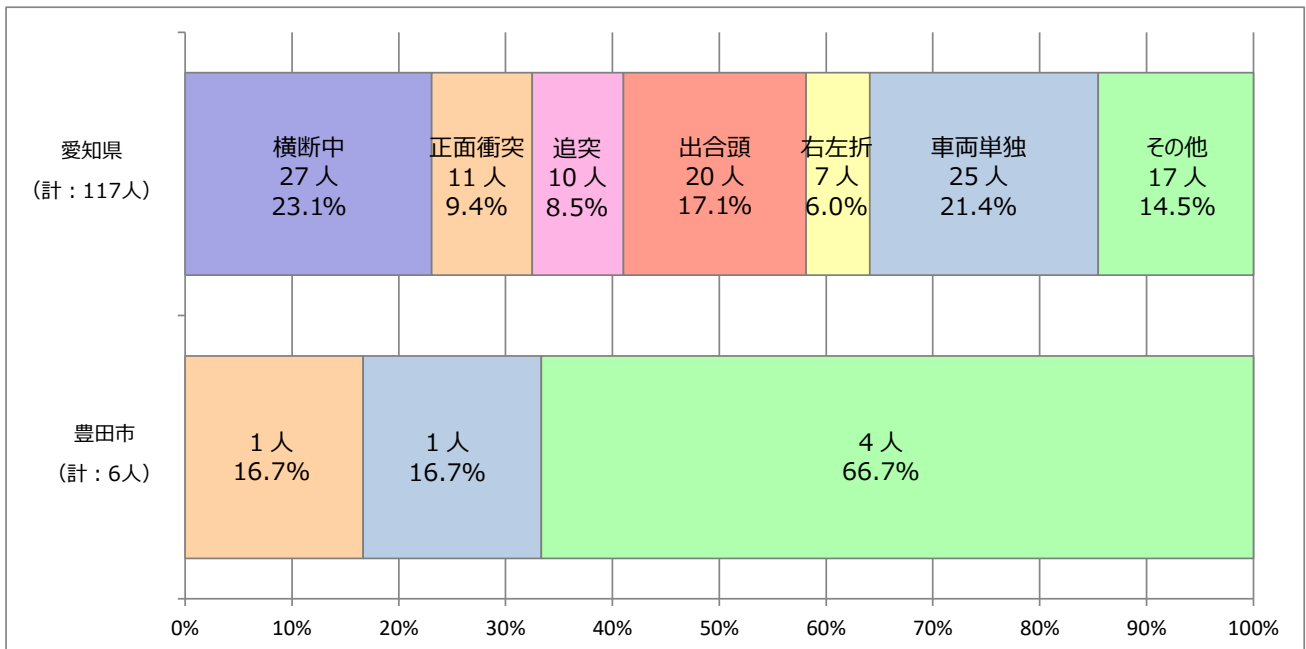
令和3年



愛知県・豊田市ともに追突、出合頭事故が多い。

② 事故類型別死者数

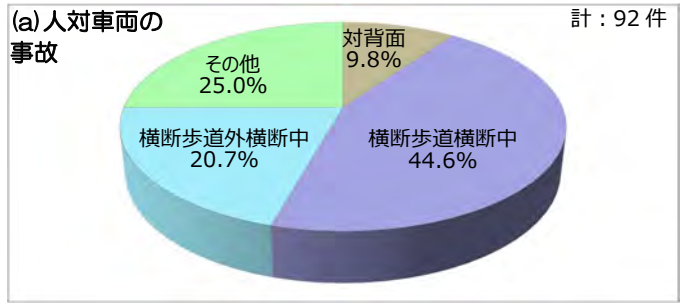
令和3年



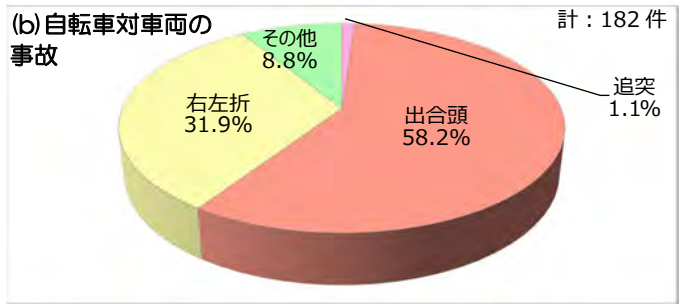
愛知県の死者数は横断中・車両単独が多く、豊田市の死者数はその他（単路カーブ）が多い。

③ 豊田市の事故類型別発生状況詳細

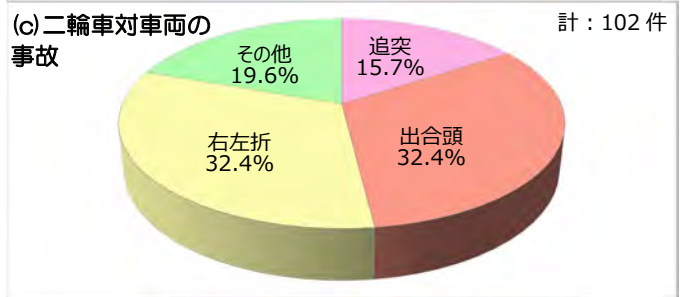
		人身事故件数		
			内) 死亡事故件数	
(a) 人対車両	対背面	9	0	
	横断歩道横断中	41	0	
	横断歩道外横断中	19	0	
	その他	23	1	
(b) 自転車対車両	追突	2	0	
	出合頭	106	0	
	右左折	58	0	
	その他	16	0	
(c) 二輪車対車両	追突	16	0	
	出合頭	33	0	
	右左折	33	0	
	その他	20	2	
(d) 自動車相互	正面	17	1	
	追突	360	0	
	出合頭	153	0	
	右左折	26	0	
	その他	82	1	
車両単独	(e) 四輪車	工作物	1	0
		逸脱	0	0
		駐車車両	0	0
		その他	0	0
	(f) 二輪車	工作物	1	0
		逸脱	0	0
		駐車車両	0	0
その他	3	1		
踏切		0	0	



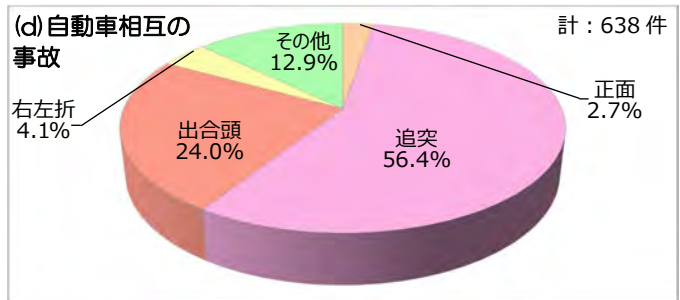
横断歩道外横断中を含め横断中の事故が多い。



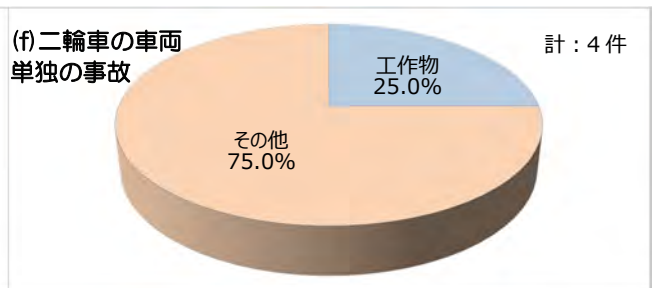
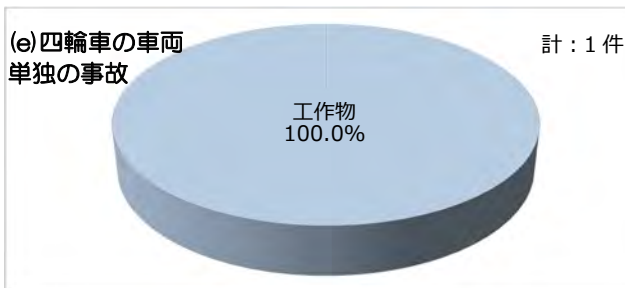
出合頭の事故が多い。



出合頭、右左折の事故が多い。



追突の事故が多い。

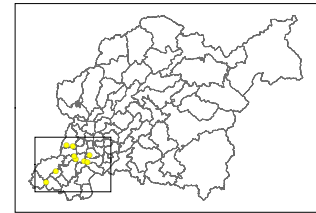


逸脱・駐車車両による事故がなかった。

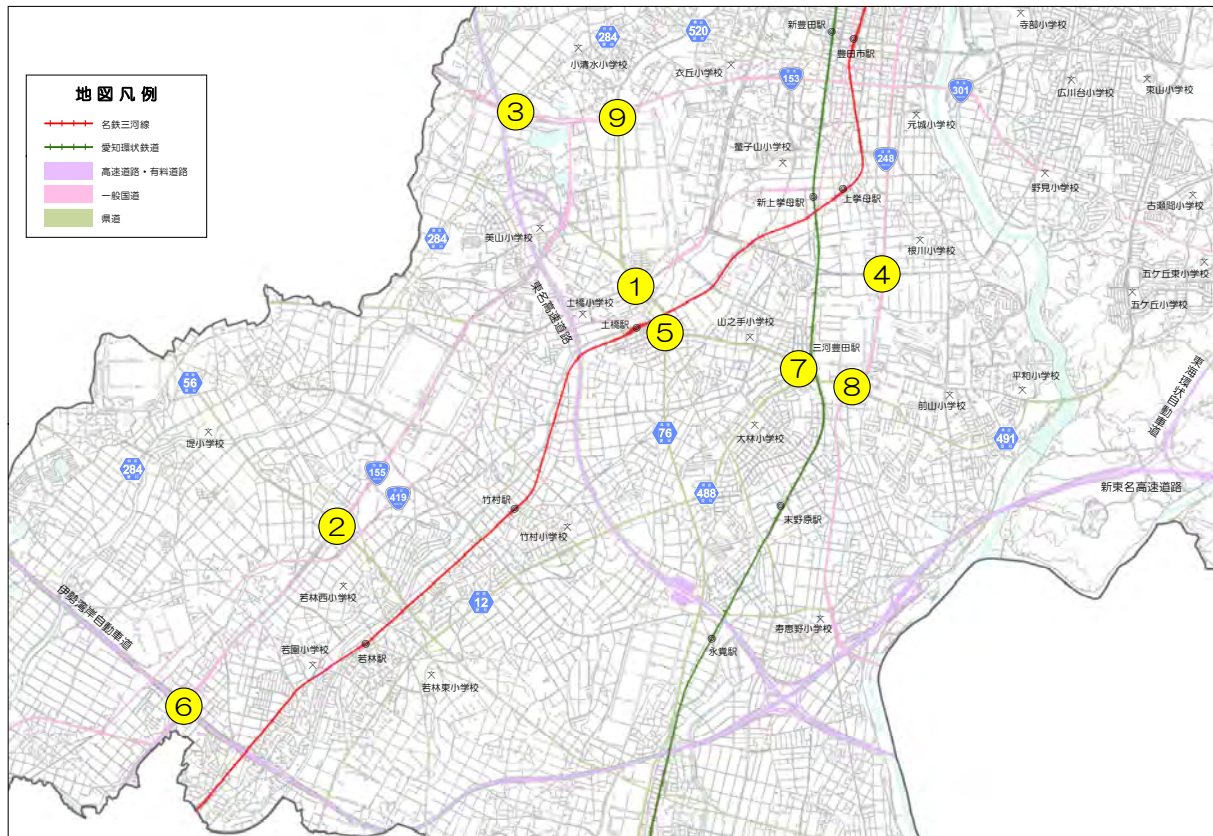
豊田市は自動車相互の追突と出合頭事故、次いで自転車対車両の出合頭事故が多い。

(9) 交通事故多発信号交差点
(平成28年～令和2年：件数)

過去5年間の総計では、「土橋町1丁目」交差点
および国道・県道の交差点が多い。



拡大図



● 内数字は、交通事故多発信号交差点（下表）の番号と対応。

番号	信号交差点名	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	総計	順位
①	土橋町1丁目	5	10	8	5	7	35	1
②	西三河車検場北	4	8	3	3	1	19	2
③	本新町5丁目	2	4	2	3	3	14	3
④	下市場町5丁目	2	2	2	5	2	13	4
⑤	曙町	2	3	3	3	2	13	4
⑥	生駒町東山	3	3	2	3	2	13	4
⑦	山之手4丁目	0	4	1	4	2	11	7
⑧	トヨタ町南	4	3	0	2	1	10	8
⑨	東新町2丁目	0	3	4	2	1	10	8

※事故件数は、愛知県警察本部提供データを用いて集計。

※順位は、信号交差点での平成28年～令和2年の事故件数が多い順を示す。

(10) 交通事故多発信号交差点詳細

① 土橋町1丁目



©2021 CNES / Airbus, Maxar Technologies

特徴

- 東西片側2車線（右折車線有）・南北片側3車線（右折車線有）の大きな交差点。
- 北から南へ下り坂になっている。
- 右折事故が13件で最も多い。

注意ポイント

- 豊田市内で交通事故が最も多く発生している交差点です。カラー舗装されていますが、前方の安全をよく確かめましょう。
- 信号を守って余裕をもって走行しましょう。

② 西三河車検場北



©2021 CNES / Airbus, Maxar Technologies

特徴

- 東西（県道56号）、南北（国道155号）ともに片側2車線（右折車線有）の大きな交差点。
- 右折事故8件と追突事故7件が多い。

注意ポイント

- 右折時は対向車をよく確かめてから進みましょう。
- 進路前方の安全をよく確かめましょう。
- 十分な車間距離を保って走行しましょう。

③ 本新町5丁目



©2021 CNES / Airbus, Maxar Technologies

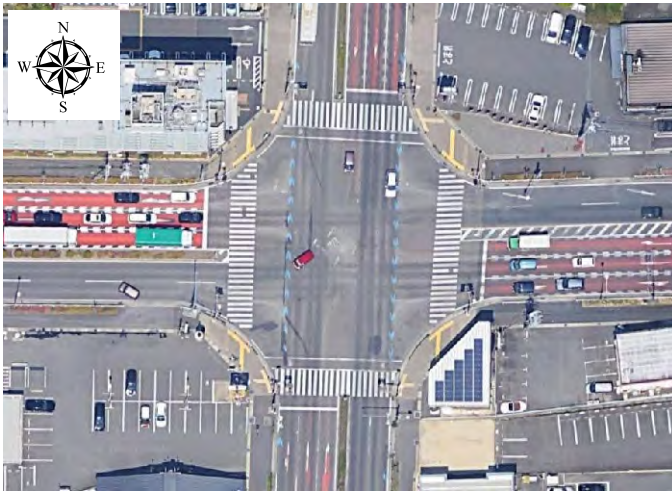
特徴

- 東西（国道153号豊田西バイパス）片側2車線（右折車線あり）と南北（県道284号）片側1車線で構成された交差点。
- 東から西へ下り坂になっている。
- 追突事故が8件で最も多い。

注意ポイント

- 進路前方の安全をよく確かめましょう。
- 急停止にならないように、適正な車間距離を保ちましょう。

④ 下市場町5丁目



©2021 CNES / Airbus, Maxar Technologies

特徴

- 東西（内環状線）、南北（国道248号）ともに片側2車線（右折車線有）の大きな交差点。
- 追突事故4件と人対車両事故3件が多い。

注意ポイント

- 進路前方の安全をよく確かめましょう。
- 信号を守って余裕をもって走行しましょう。
- ドライバーは歩行者がいるかもしれない運転に心がけましょう。

⑤ 曙町



©2021 CNES / Airbus, Maxar Technologies

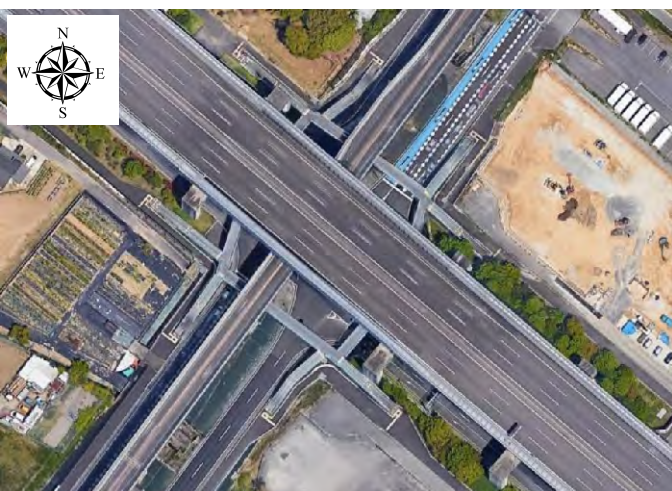
特徴

- 東側片側2車線、西側片側1車線、南側片側2車線、北側片側3車線ともに右折車線がある大きな交差点。
- 右折事故5件が多く、出合頭事故3件と追突事故2件も多い。

注意ポイント

- 右折時は対向車をよく確かめてから進みましょう。
- 信号を守って余裕をもって走行しましょう。
- 十分な車間距離を保って走行しましょう。

⑥ 生駒町東山



©2021 CNES / Airbus, Maxar Technologies

特徴

- 伊勢湾岸自動車道および衣浦豊田道路の高架下であり、東西、南北ともに片側2車線（右折車線有）の大きな交差点。
- 追突事故が9件で最も多い。

注意ポイント

- 進路前方の安全をよく確かめましょう。
- 急停止にならないように、適正な車間距離を保ちましょう。

⑦ 山之手4丁目



©2021 CNES / Airbus, Maxar Technologies

特徴

- 東西（県道 491 号）、南北（県道 488 号）ともに片側 2 車線（右折車線有）の大きな交差点。
- 右折事故 3 件と追突事故 3 件が多い。

注意ポイント

- 右折時は対向車をよく確かめてから進みましょう。
- 十分な車間距離を保って走行しましょう。

⑧ トヨタ町南



©2021 CNES / Airbus, Maxar Technologies

特徴

- 東西（県道 491 号）、南北（国道 248 号）ともに片側 2 車線（右折車線有）の大きな交差点。
- 右折事故 3 件が多く、左折事故 2 件と人対車両事故 2 件も多い。

注意ポイント

- 右折時は対向車を確実に確認しましょう。
- 左折する際はサイドミラーでは確認できない死角があるので、必ず目視しましょう。
- ドライバーは歩行者がいるかもしれない運転に心がけましょう。

⑨ 東新町2丁目



©2021 CNES / Airbus, Maxar Technologies

特徴

- 東西（国道 153 号）片側 2 車線、南北片側 1 車線（南側の北進方向のみ 2 車線）ともに右折車線がある大きな交差点。
- 追突事故が 5 件で最も多い。

注意ポイント

- 進路前方の安全をよく確かめましょう。
- 急停止にならないように、十分な車間距離を保ちましょう。

(11) 交通事故死者数ワースト記録の推移

※名古屋市を除く。

年 ワースト 順位	平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年	
	市	死者数	市	死者数	市	死者数	市	死者数	市	死者数
1	豊田市	13	豊橋市	12	豊田市	16	豊田市	16	岡崎市	8
2	一宮市	12	岡崎市	11	豊橋市	12	岡崎市	9	一宮市	7
3	岡崎市	11	豊田市 春日井市	9	一宮市 豊川市	8	小牧市 一宮市	7	豊田市 豊橋市	6
4	豊橋市	9								
5	半田市	8	一宮市	7	西尾市	7	蒲郡市	6	稲沢市 春日井市	5

令和3年の豊田市の交通事故死者数は、愛知県内で名古屋市を除いて「ワースト3位」である。

(12) 交通関係指標の推移

指標	年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
交通事故死者数		13	9	16	16	6
車両保有台数 (各年3月末時点)		346,398	348,567	348,546	350,450	349,959
免許保有者数 (各年12月28日時点)		305,407	306,463	306,018	304,434	303,239
人口 (各翌年1月1日時点)		424,990	425,475	424,902	422,046	418,294

交通事故死者数・車両保有台数・免許保有者数・人口すべて少なくなった。

※車両保有台数出典：「市町村別保有車両数」（愛知運輸支局）および「軽自動車車両数」（全国軽自動車協会連合会）

※免許保有者数出典：「運転免許人口」（愛知県警察）

※人口データ出典：「あいちの人口」（愛知県）

3 愛知県内各市の交通事故発生状況

	令和3年					令和2年				
	発生件数 (件)	死者 (人)	負傷者(人)	人口1万人 当りの 死者数 (人)	発生 件数 順位	発生件数 (件)	死者 (人)	負傷者(人)	人口1万人 当りの 死者数 (人)	発生 件数 順位
全 国	305,425	2,636	361,768	0.21		309,000	2,839	368,601	0.23	
愛 知 県	24,185	117	28,631	0.16		24,879	154	29,559	0.20	
名古屋市	8,224	22	9,617	0.09		7,975	42	9,344	0.18	
豊橋市	1,478	6	1,736	0.16	1	1,652	4	1,970	0.11	1
一宮市	1,115	7	1,299	0.19	2	1,231	7	1,436	0.18	2
春日井市	1,101	5	1,306	0.16	3	1,145	3	1,354	0.10	4
豊田市	1,019	6	1,161	0.14	4	1,093	16	1,250	0.38	5
岡崎市	971	8	1,113	0.21	5	1,176	9	1,349	0.23	3
豊川市	565	4	657	0.22	6	584	2	716	0.11	6
刈谷市	534	3	654	0.20	7	556	3	650	0.20	7
西尾市	516	4	611	0.24	8	530	2	647	0.12	8
安城市	515	4	584	0.21	9	522	3	623	0.16	9
小牧市	504	1	588	0.07	10	508	7	606	0.47	10
瀬戸市	452	0	549	0.00	11	405	0	475	0.00	11
半田市	445	2	530	0.17	12	403	2	465	0.17	12
稲沢市	419	5	470	0.37	13	393	5	461	0.37	13
江南市	321	0	385	0.00	14	312	1	371	0.10	15
蒲郡市	276	2	347	0.25	15	257	6	308	0.76	20
日進市	260	2	313	0.22	16	278	1	328	0.11	18
尾張旭市	256	0	316	0.00	17	186	0	226	0.00	26
東海市	255	0	298	0.00	18	351	4	429	0.35	14
北名古屋市	234	1	284	0.12	19	295	1	350	0.12	16
あま市	228	3	280	0.35	20	247	0	293	0.00	21
清須市	226	2	273	0.30	21	262	2	320	0.29	19
大府市	221	0	241	0.00	22	281	0	333	0.00	17
豊明市	193	0	220	0.00	23	197	1	240	0.14	24
みよし市	193	1	215	0.16	23	157	1	181	0.16	31
長久手市	192	4	223	0.66	25	201	1	238	0.16	23
知立市	191	0	240	0.00	26	193	2	232	0.28	25
弥富市	187	0	218	0.00	27	224	1	271	0.23	22
津島市	175	2	210	0.33	28	156	3	187	0.49	32
知多市	166	0	199	0.00	29	181	0	213	0.00	27
犬山市	159	0	183	0.00	30	177	1	196	0.14	28
碧南市	156	1	174	0.14	31	172	2	198	0.28	30
田原市	143	2	169	0.34	32	131	3	171	0.51	35
常滑市	121	1	164	0.17	33	138	5	166	0.87	33
高浜市	121	0	138	0.00	33	126	0	158	0.00	36
愛西市	120	2	152	0.33	35	177	1	234	0.16	28
岩倉市	120	0	134	0.00	35	136	1	156	0.21	34
新城市	77	2	89	0.46	37	76	1	96	0.23	37

※全国データ出典：「交通事故発生状況」令和3年中（警察庁ホームページの統計）

※愛知県下各市データ出典：「愛知県の交通事故発生状況」令和3年中（愛知県警察）

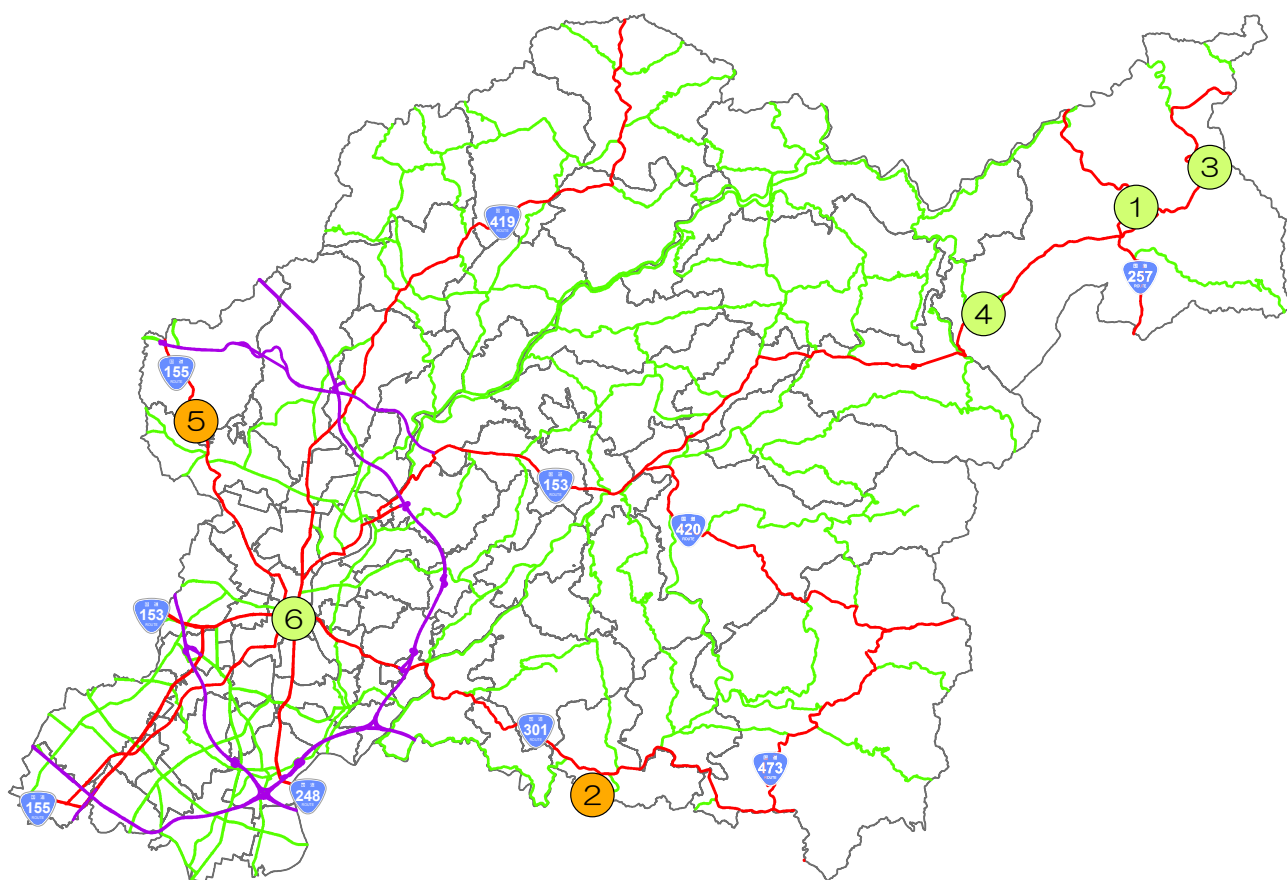
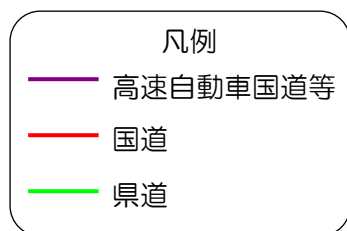
※人口データ出典：「人口推計」（総務省）および「あいちの人口」（愛知県）

※発生件数順位は、名古屋市を除く愛知県内の各市を対象としている。

豊田市の交通事故発生件数は、愛知県内で名古屋市を除いて「ワースト4位」である。

4 豊田市の令和3年の死亡事故


(1) 死亡事故位置図



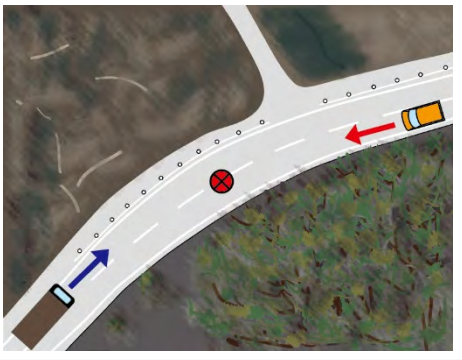
● は死者が65歳未満、● は死者が65歳以上の死亡事故。数字は(2)死亡事故一覧表に対応。

(2) 死亡事故一覧表（6件、6人）

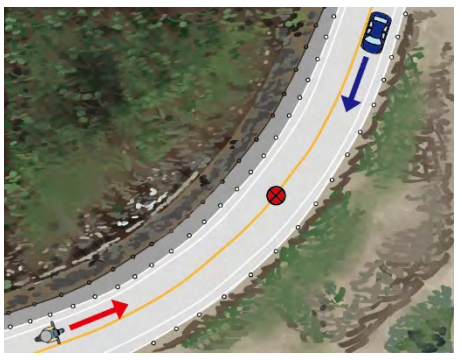
計上日：5月31日

1	日時		5月31日（月）	
			午後3時10分頃	
	場所		夏焼町	
	事故概要		車両相互	
	当事者	死者	大型自動二輪：50歳代（男性）	
相手		普通乗用：60歳代（男性）		
<p>※カーブの手前で十分に減速し、中央線をはみ出さないように注意しましょう。</p>				

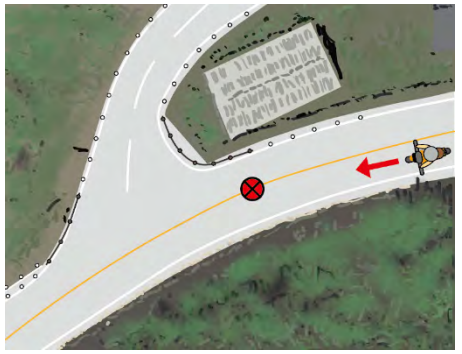
計上日：7月16日

2	日時		7月15日（木）	
			午後2時頃	
	場所		蕪木町	
	事故概要		車両相互	
	当事者	死者	軽四乗用（同乗者）：80歳代（女性）	
相手		大型貨物：70歳代（男性）		
<p>※カーブの手前で十分に減速し、中央線をはみ出さないように注意しましょう。</p>				

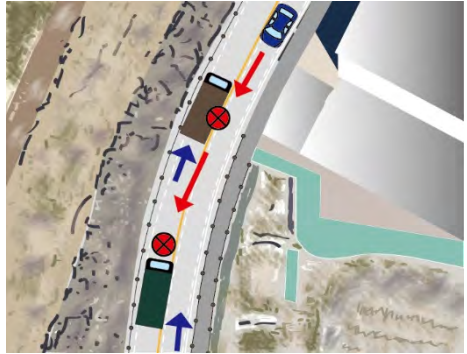
計上日：9月12日

3	日時		9月11日（土）	
			午後2時20分頃	
	場所		野入町	
	事故概要		車両相互	
	当事者	死者	普通自動二輪：50歳代（男性）	
相手		普通乗用：30歳代（男性）		
<p>※カーブの手前で十分に減速し、中央線をはみ出さないように注意しましょう。</p>				

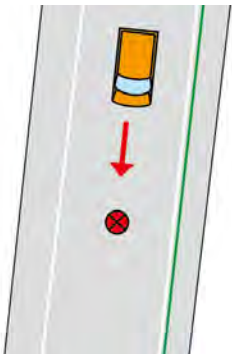
計上日：9月25日

4	日時		9月25日 (土)	
			正午頃	
	場所		小田木町	
	事故概要		車両単独	
当事者	死者	大型自動二輪：30歳代（男性）		
	相手	（路面）		
<p>※カーブの手前で十分に減速し、転倒しないように注意しましょう。</p>				

計上日：11月15日

5	日時		11月15日 (月)	
			午後0時45分頃	
	場所		篠原町	
	事故概要		車両相互	
当事者	死者	普通乗用：70歳代（男性）		
	相手	大型貨物：60歳代（男性） 大型貨物：60歳代（男性）		
<p>※カーブの手前で十分に減速し、中央線をはみ出さないように注意しましょう。</p>				

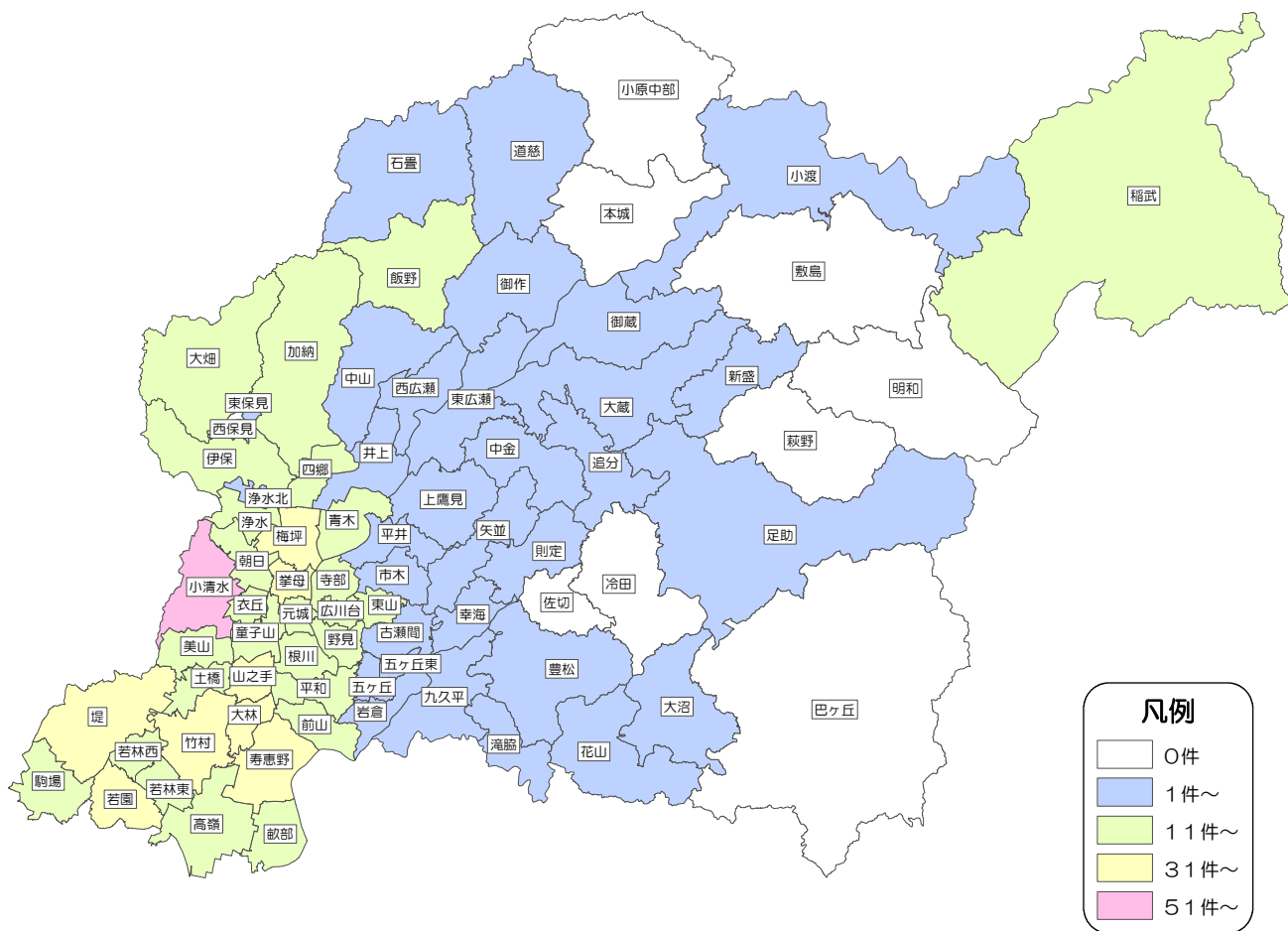
計上日：11月20日

6	日時		11月20日 (土)	
			午前2時20分頃	
	場所		元城町	
	事故概要		人対車両	
当事者	死者	人：40歳代（男性）		
	相手	軽四乗用：50歳代（女性）		
<p>※夜間は歩行者等を早く発見するため、積極的にハイビームを活用しましょう。 ※速度を控え、安全運転を心がけましょう。</p>				

5 豊田市の小学校区別交通事故

(1) 発生状況分布図

令和3年事故
1,019件



交通量が多い南部・西部に事故が集中している。

(2) 発生状況一覧表

発生件数は「小清水小学校区」が最も多い。

	令和3年				令和2年			
	発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数	発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数
童子山	29	0	0	29	24	2	1	22
拳母	31	0	1	33	43	1	2	42
根川	26	0	1	28	32	0	0	44
小清水	61	0	0	69	51	0	2	53
前山	18	0	0	20	20	0	0	22
山之手	33	0	0	38	44	0	0	53
美山	20	0	0	22	20	0	2	21
寺部	19	0	0	21	9	0	0	14
平井	4	0	0	4	3	0	0	5
野見	21	0	0	24	16	2	0	17
古瀬間	9	0	1	12	15	1	0	14
矢並	1	0	0	1	1	0	0	1
高嶺	30	0	0	35	34	1	0	35
寿恵野	44	0	0	48	47	1	1	50
畝部	17	0	0	19	16	0	1	16
堤	50	0	1	60	53	1	2	59
若園	36	0	0	41	25	0	0	32
竹村	33	0	0	36	46	1	0	47
駒場	27	0	0	31	37	0	1	42
大林	36	0	1	39	27	1	1	27
大畑	17	1	0	17	6	0	0	9
伊保	29	0	1	33	25	0	1	30
加納	22	0	1	26	22	0	2	25
青木	21	0	0	23	27	0	0	34
西広瀬	7	0	1	6	4	0	0	5
東広瀬	2	0	0	2	1	0	0	1
中金	2	0	0	4	3	0	0	3
上鷹見	3	0	0	4	1	0	0	1
幸海	1	0	0	1	0	0	0	0
岩倉	1	0	0	1	4	0	0	4
九久平	2	0	0	2	4	0	0	6
滝脇	1	0	0	2	0	0	0	0
豊松	3	0	0	4	3	0	0	3
東山	11	0	0	14	8	0	0	8
元城	30	1	1	33	44	0	0	58
梅坪	38	0	1	45	39	0	2	43
朝日	23	0	0	28	24	0	0	29
若林東	22	0	0	24	24	0	0	25
東保見	4	0	1	3	3	0	0	4
四郷	23	0	0	27	28	0	1	34
浄水	22	0	1	22	21	0	0	24
平和	16	0	0	17	24	0	0	26

(続き)

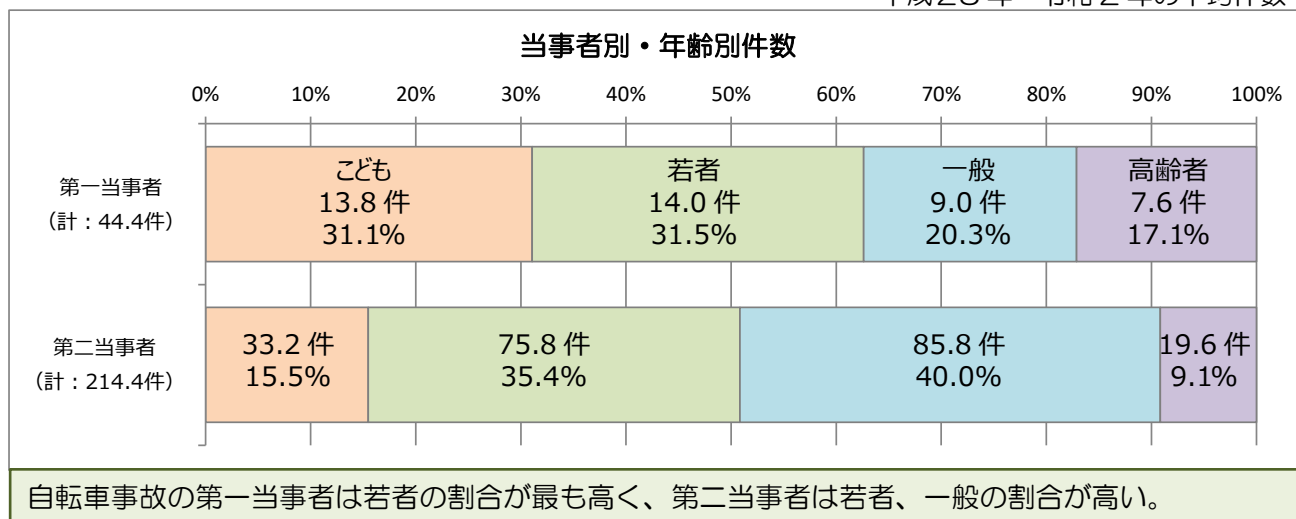
	令和3年				令和2年			
	発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数	発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数
市木	8	0	1	7	10	1	0	9
若林西	15	0	0	19	24	0	0	25
衣丘	25	0	0	30	25	1	0	30
土橋	29	0	0	33	55	1	0	62
広川台	19	0	1	19	21	0	1	22
井上	8	0	0	8	9	0	0	10
五ヶ丘	5	0	0	5	4	1	0	4
西保見	0	0	0	0	1	0	0	1
五ヶ丘東	2	0	0	2	0	0	0	0
飯野	13	0	1	15	11	0	0	12
石畳	1	0	0	1	3	0	0	3
御作	3	0	0	3	1	0	0	1
中山	7	0	0	7	10	0	0	11
道慈	1	0	0	1	1	0	0	1
本城	0	0	0	0	0	0	0	0
小原中部	0	0	0	0	4	0	0	4
足助	8	0	0	13	11	0	1	13
冷田	0	0	0	0	0	0	0	0
追分	2	0	0	2	2	1	0	2
佐切	0	0	0	0	0	0	0	0
則定	1	0	0	1	0	0	0	0
萩野	0	0	0	0	0	0	0	0
明和	0	0	0	0	0	0	0	0
新盛	2	0	0	3	3	0	0	6
大蔵	1	0	1	1	0	0	0	0
御蔵	1	0	1	0	0	0	0	0
花山	2	1	2	1	1	0	0	1
大沼	1	0	0	1	0	0	0	0
巴ヶ丘	0	0	0	0	3	0	0	3
小渡	2	0	0	3	4	0	1	3
敷島	0	0	0	0	0	0	0	0
稲武	11	3	0	12	5	0	0	10
浄水北	7	0	0	7	7	0	0	7
計	1,019	6	19	1,142	1,093	16	22	1,228

※発生件数はワースト5位以内に着色、死者数は2人以上に着色。

6 豊田市の自転車交通事故

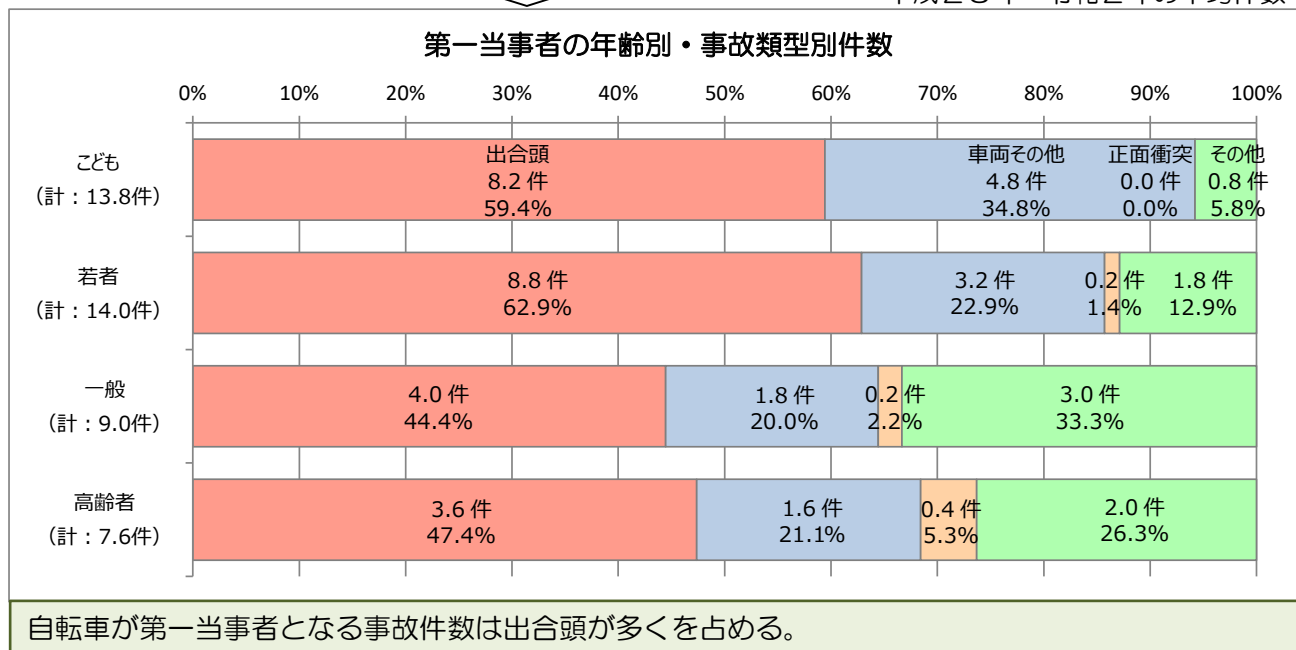
(1) 年齢別発生状況

平成28年～令和2年の平均件数



第一当事者について
詳しく見てみると・・・

平成28年～令和2年の平均件数



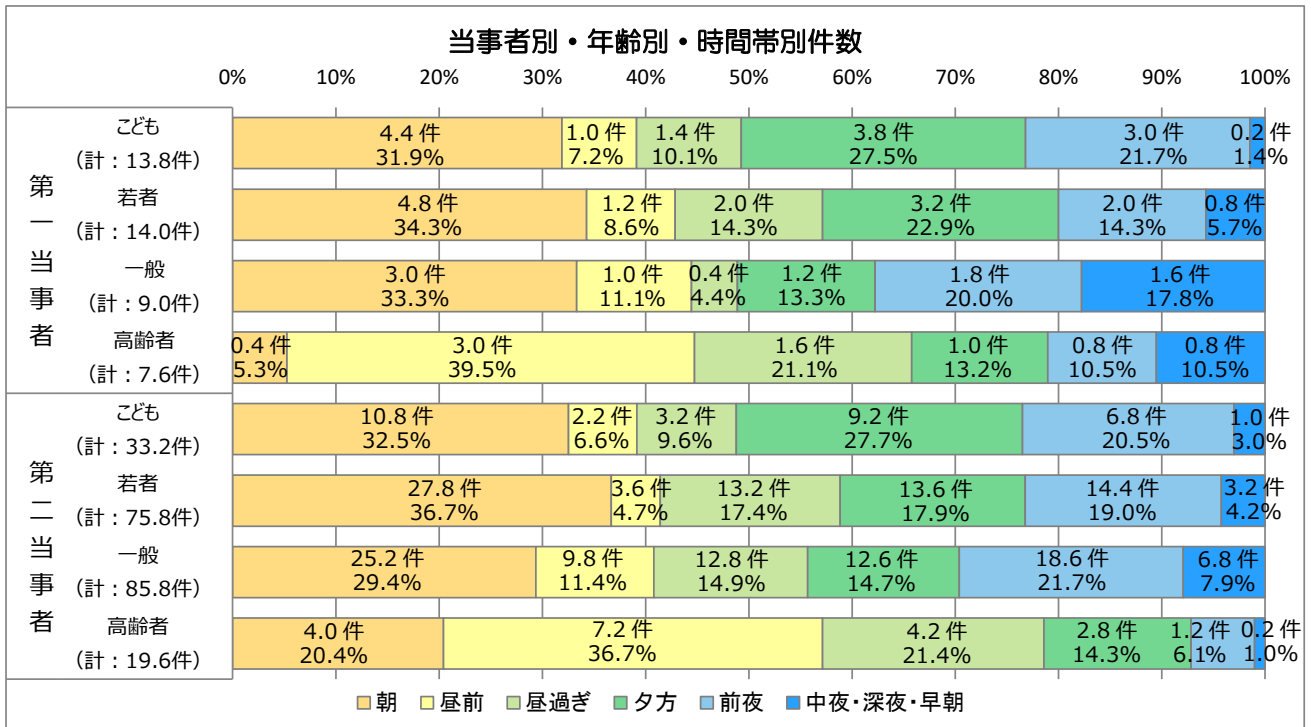
保護者の方へ

- お子さんが自転車に乗り始めたら、一時停止の標識のあるところや道路に出るときは、必ず止まって安全確認をするように教えましょう。
- 自転車に乗るときは、ヘルメットを着用し、自転車保険に加入しましょう。

※子どもは0～15歳、若者は16～24歳、一般は25～64歳、高齢者は65歳以上を示す。

(2) 時間帯別発生状況

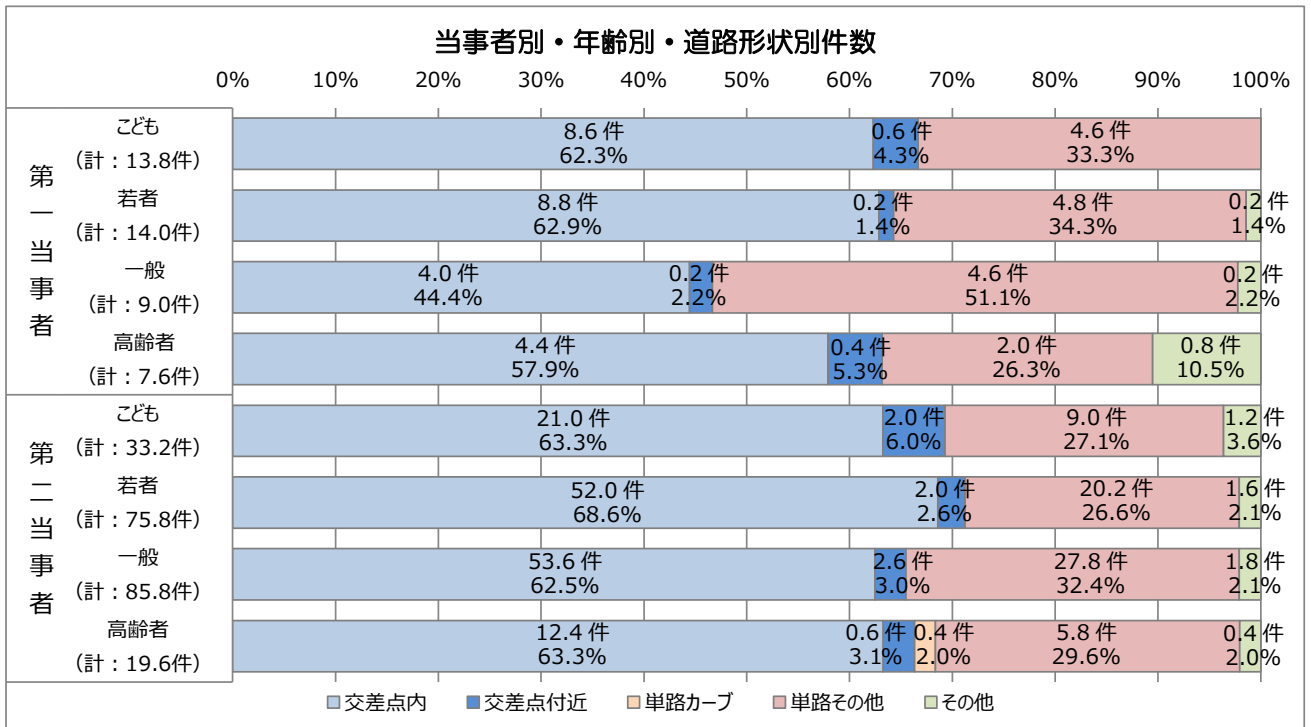
平成28年～令和2年の平均件数



自転車事故は子ども・若者・一般では第一当事者・第二当事者ともに朝の割合が高く、高齢者は第一当事者・第二当事者ともに昼前の割合が高い。

(3) 道路形状別発生状況

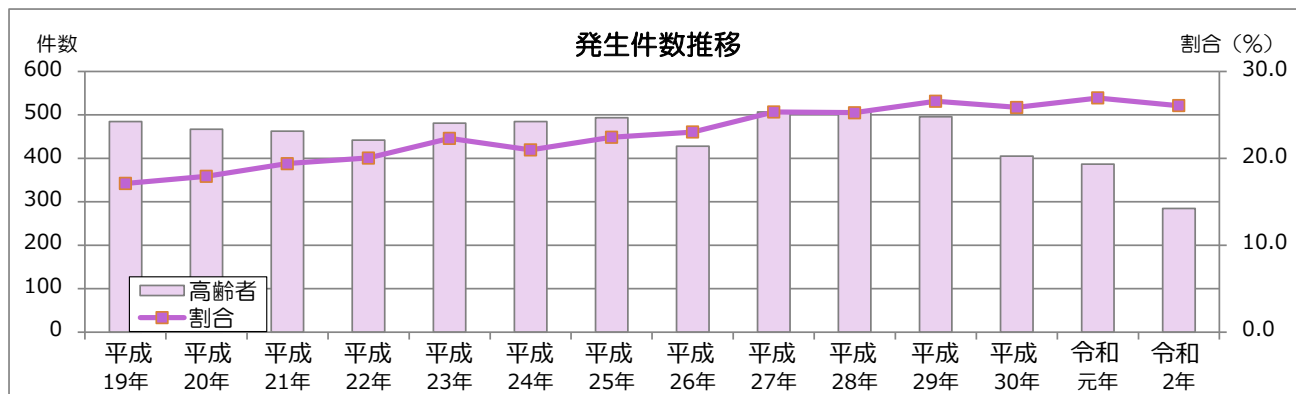
平成28年～令和2年の平均件数



第一当事者の一般は単路その他の割合が高く、その他は交差点内の割合が高い。

7 豊田市の高齢者（65歳以上）の交通事故

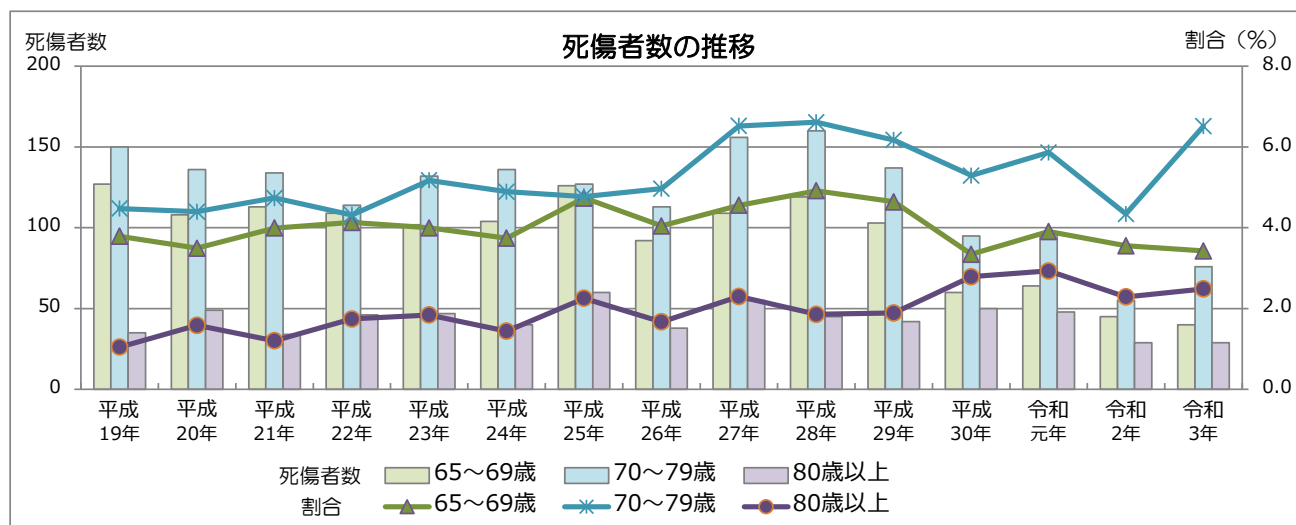
(1) 発生状況の推移



区分	年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
発生件数	発生件数	2,832	2,603	2,385	2,205	2,156	2,311	2,202	1,857	2,000	2,006	1,866	1,565	1,435	1,093
	高齢者	485	467	463	442	481	485	494	428	507	507	496	405	387	285
	割合	17.1	17.9	19.4	20.0	22.3	21.0	22.4	23.0	25.4	25.3	26.6	25.9	27.0	26.1

※割合とは各年の全発生件数に占める高齢者事故の割合。

平成19年から令和2年までの14年間で全体の事故件数は61%減少したが、高齢者の事故件数は41%の減少に止まっている。



区分	年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
死傷者数	死傷者数	3,350	3,091	2,829	2,638	2,551	2,779	2,659	2,275	2,392	2,420	2,219	1,794	1,637	1,266	1,167
	65～69歳	127	108	113	109	102	104	126	92	109	119	103	60	64	45	40
	70～79歳	150	136	134	114	132	136	127	113	156	160	137	95	96	55	76
割合	80歳以上	35	49	34	46	47	40	60	38	55	45	42	50	48	29	29
	65～69歳	3.8	3.5	4.0	4.1	4.0	3.7	4.7	4.0	4.6	4.9	4.6	3.3	3.9	3.6	3.4
	70～79歳	4.5	4.4	4.7	4.3	5.2	4.9	4.8	5.0	6.5	6.6	6.2	5.3	5.9	4.3	6.5
割合	80歳以上	1.0	1.6	1.2	1.7	1.8	1.4	2.3	1.7	2.3	1.9	1.9	2.8	2.9	2.3	2.5

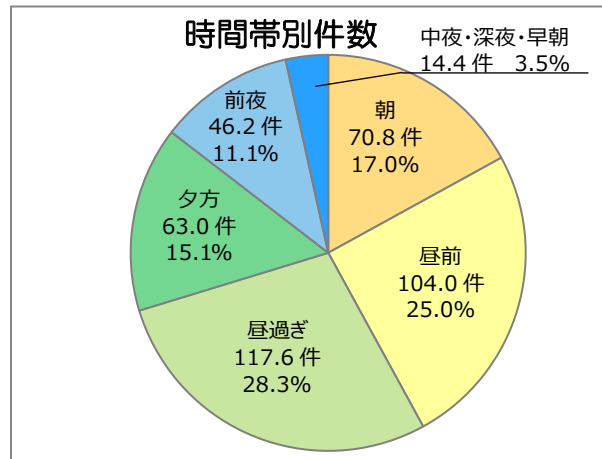
※割合とは各年の全死傷者数に占める高齢者の割合。

※平成19～23年は平成24年に行われた事故件数見直し前の値であるが、誤差は僅かであり全体の傾向に影響はない。

平成19年から令和3年までの15年間で全体の交通事故死傷者数は65%減少し、高齢者の交通事故死傷者数も54%減少したが、相対的に高齢者の割合が高い。

(2) 時間帯別発生状況

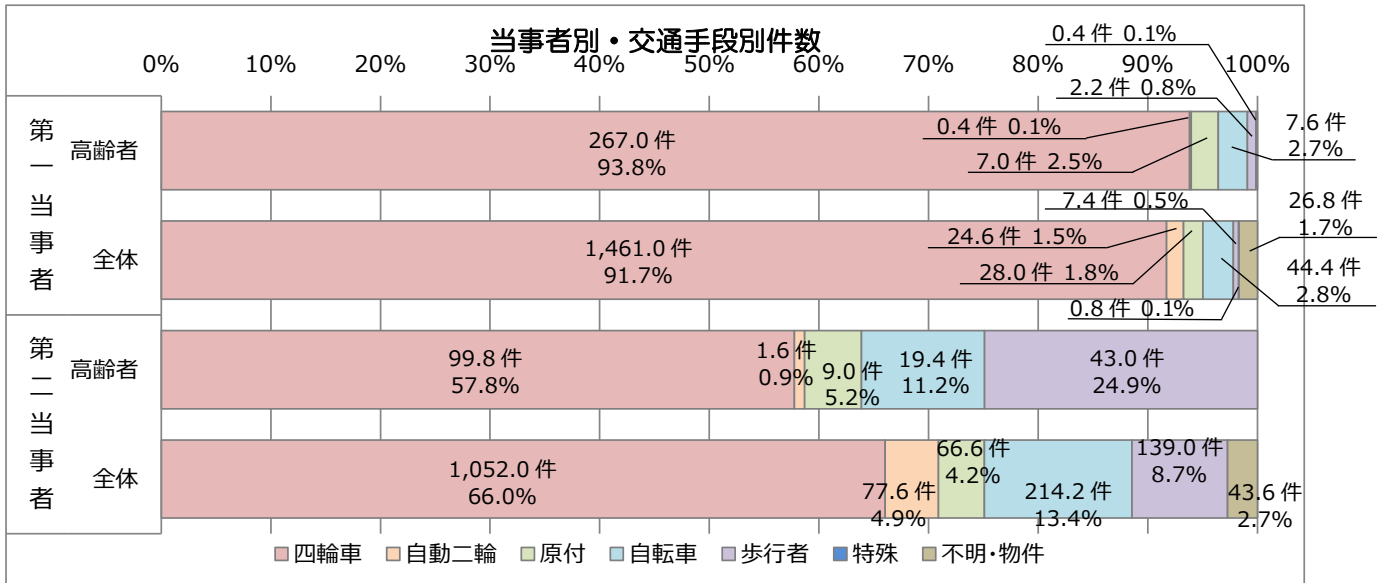
平成28年～令和2年の平均件数



高齢者の事故は昼前、昼過ぎに多い。

(3) 交通手段別発生状況

平成28年～令和2年の平均件数



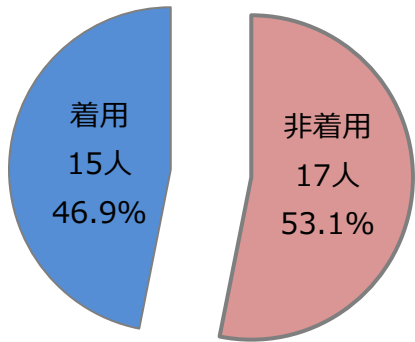
高齢者の事故は第一当事者、第二当事者ともに四輪車が最も多い。全体と比べると高齢者は第二当事者で歩行者の割合が高い。

- 高齢者の方へ
- 青信号、横断歩道でも渡り終わるまで左右の安全確認、車が来ないことを確認してから渡りましょう。
 - 交通量が少ない道路であっても、横断歩道があればそこまで移動して、周りの状況をよく確認してから渡りましょう。

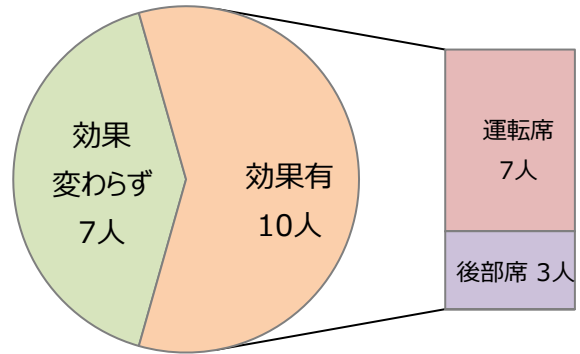
※高齢者とは65歳以上で、全体とは全ての年齢を含む。

シートベルト着用状況（愛知県警察データより）

シートベルト着用状況（令和3年）



非着用者がシートベルトを着用した場合（令和3年）



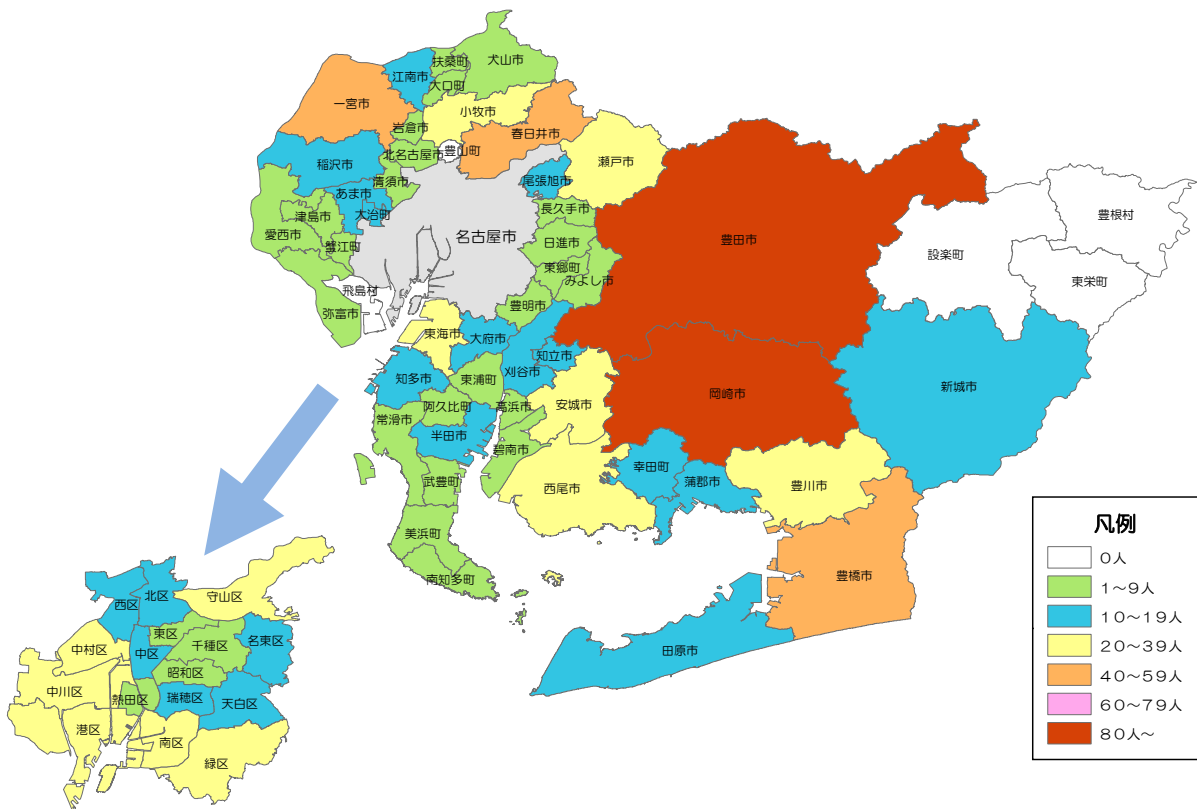
※四輪車乗車中の死者32人中17人が非着用。

※効果有は着用していれば助かったと思われる人。

- 平成20年6月に道路交通法が改正され、後部座席もシートベルトの着用が義務化されました。
- シートベルトを着用のうえ、エアバック（装備車）が作動すれば、万が一、交通事故に遭った場合でも衝突時の衝撃が大幅に軽減されます。

令和3年の自治体別飲酒運転による検挙者の実態

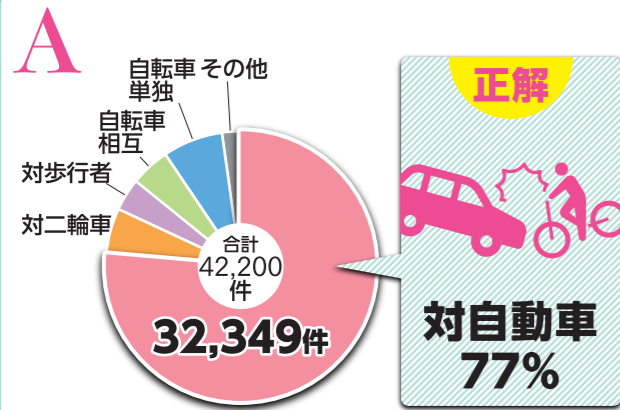
※飲酒運転で検挙された者及び飲酒運転による人身事故の原付以上の第一当事者の居住地を示す。



豊田市では令和3年中82人が検挙され、愛知県内ワースト2位である。（名古屋市を除く）

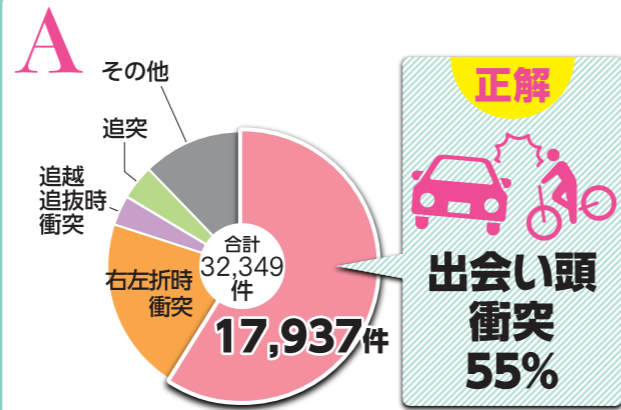
※愛知県警察の「飲酒運転の事故実態」に基づく。

特徴その1 自転車の事故で、**最も多い衝突相手とは？**



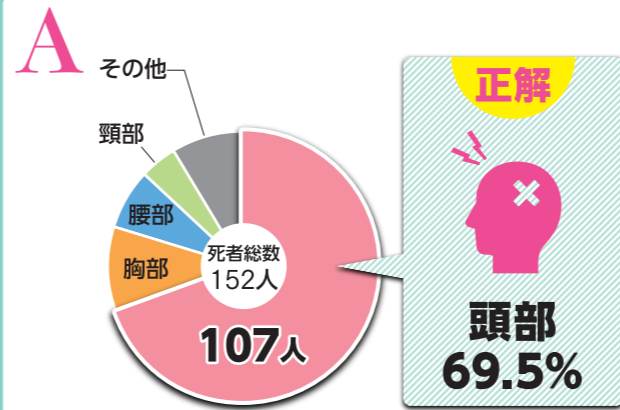
相手当事者別自転車関連死亡・重傷事故件数 (第1・第2当事者) (2016年~2020年)
警察庁ホームページ「自転車関連事故の特徴」より

特徴その2 自転車×自動車の事故で、**最も多いタイプの事故とは？**



事故類型別「自転車対自動車」死亡・重傷事故件数 (第1・第2当事者) (2016年~2020年)
警察庁ホームページ「自転車関連事故の特徴」より

特徴その3 自転車死亡事故で、死因となった**最も多い負傷部位とは？**



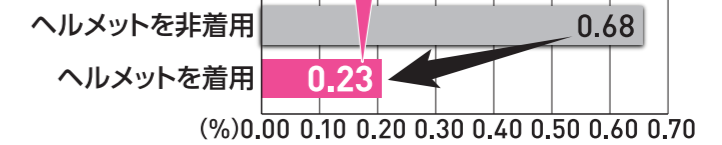
愛知県交通死亡事故の負傷主部位の割合 (2016~2020年)
愛知県ホームページより

少しでも**被害を減らす**には？
ヘルメットを着用!!

大人もヘルメットを被りましょう。

ヘルメットを着用すると事故時の頭部損傷が軽減され、致死率も1/3になるとされています。

ヘルメットを着用すれば致死率は1/3に!



自転車乗車中のヘルメット着用状況別の致死率(令和2年)
警察庁ホームページより

買い物や通勤・通学等、日常生活で自転車に乗るときもヘルメットを着用して、頭部を保護しましょう。



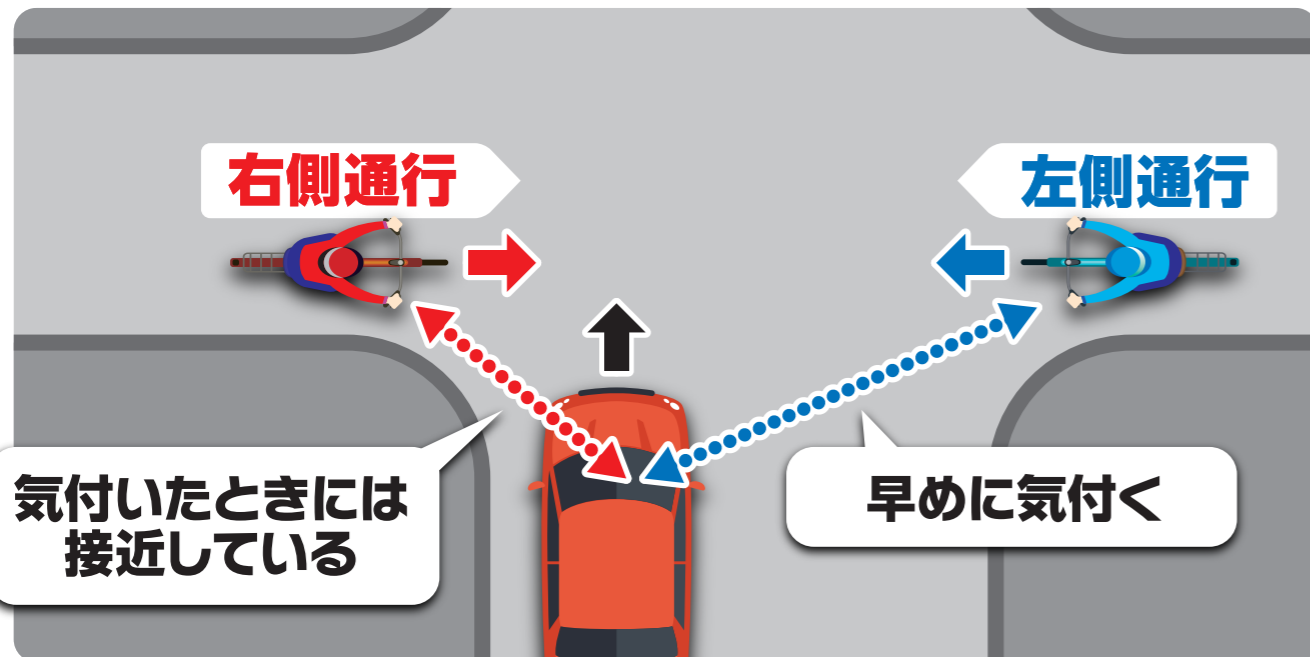
自転車用ヘルメットは、競技用から帽子型まで、デザインも豊富でいろいろな種類があります。自分に合ったものを選びましょう。

少しでも**事故を減らす**には？

自転車も左側通行!!

自転車は**左側通行**が原則です。

下図のような状況では、道路の左側を通行している方が(図中右の自転車)、自転車と車双方の発見までに余裕ができて、衝突回避の可能性が高くなります。



自転車の**基本ルール**が大事です。

自転車の事故では、自転車側にも安全不確認や一時不停止等の違反が多いのです。自転車の基本ルールである左側通行や一時停止場所での確実な停止と安全確認をし、信号を守って交通事故を防ぎましょう。

特に、ながらスマホや一時不停止、信号無視は重大な事故に繋がりますので、絶対にやめましょう。



- ①の場合 5万円以下の罰金
- ②の場合 3か月以下の懲役 または 5万円以下の罰金



自転車は車道が原則です。例外的に歩道を通行できる場合でも、車道寄りの部分を徐行し、歩行者の通行を妨げることとなる場合は一時停止しましょう。

歩行者を守ろう！

道路横断中の交通事故を防止するため、「歩行者保護モデルカー活動」、「とまってくれてありがとう運動」を推進しています。

歩行者保護モデルカー活動

「歩行者保護モデルカー活動」とは、活動を委嘱された事業所の車両にステッカーを貼り、以下の3項目を実践した運転を行い、安全運転のけん引役を担うことで交通事故抑止を目指しています。また、市民向けのステッカーを広く配布し、市内全域で活動の拡大を図っています。

速度遵守・・・制限速度を必ず守る

ハイビームの活用・・・ライト点灯時はハイビームを活用する

歩行者優先・・・横断歩道で歩行者を見たら必ず止まる



委嘱事業所用ステッカーデザイン



市民向けステッカーデザイン

とまってくれてありがとう運動

横断歩道を渡るときに、歩行者側から一時停止してくれたドライバーに、積極的に会釈などで感謝を伝える運動です。



安全な横断歩道の渡り方

「止まる！」



「見る・待つ！」

プラス
+



ドライバーと目を合わせて
「ありがとう！」

笑顔で「ありがとう」と感謝を伝えることで、ドライバーは清々しい気持ちになり、歩行者に優しい安全運転の輪を広げていきます。また、ドライバーとアイコンタクトをすることで、安全確認の徹底にもつながります。

交通安全作文 (令和3年度 最優秀作品 豊田市長賞)

『交通安全と母の言葉』

「ドンッ。」生まれて初めて聞いた言葉では表せない衝突音。私は感じたことのない恐怖に襲われた。何年経とうと忘れることはない。

昨年のある日、私は習い事の教室に行くために歩道を歩いていた。毎週のルーティーンで、普段と変わらず鼻歌を歌い歩いていた。

ある十字路の交差点に近づいたとき、横方向の信号が青色から黄色に変わるのが見えた。教室はその交差点の先にあり、前方向にも横方向にも渡る必要がある。どちらを先に渡ってもよかった。その日は、お月謝を払う日ですこし急いでいたので、信号が黄色だが、渡りたいと走った。でも、ギリギリ間に合わず、もう渡れないと諦めた。

前の信号が青色になり渡り始めたとき、「ドンッ」と、誰もが振り返るようなすごい音が聞こえた。驚いて見てみると、車と車が横断歩道の上で衝突していた。衝突の衝撃で車からはもうもうと白い煙が上がり、前の車の後方部分は、信じられないほどへこんでいた。

最初は突然のことで、何が起こったのかわからず、言葉もなくただ驚いていた。だが、ようやく状況が飲み込めてくると、全身に鳥肌がたった。横断歩道の真ん中で車がぶつかっている場所は、もし私が黄色の信号で無理に渡っていたら、自分が歩いていたであろう場所だということに気がついたからだ。

もし、黄色で渡っていたら。同じタイミングであの位置にいたら。そう考えると、指先が冷たくなり寒気が止まらなかった。

幸いにも歩行者に怪我人は出なかったが、少しタイミングが違えば、巻きこまれていたかもしれない。今日体験したような事故はどれくらい起きているのだろう。調べてみると、過去には、年間43万件あまりの事故が発生していた。事故を起こした人は、日々ニュースを見て何も思わないのだろうか。

「ヒヤリハット」という言葉がある。これは、事故の裏には、事故には至らなかったがヒヤリとしたり、ハッとさせられたりするような危険なトラブルがたくさん隠れていることをしめした言葉である。実際、体験したことがある人もいないのではないだろうか。

私も体験した。ある日、友達との待ち合わせ場所に向かう途中、路地をものすごいスピードで走ってくる車を見た。怖いからと道路の端まで下がり、車が通り過ぎるのを待った。すると、その車が、横を通り過ぎる時に、私の方へ少しハンドルを切ったように見えた。「バサッ。」服の袖が車に擦れた。怖かった。

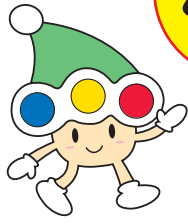
私は後ろへ下がられるだけ下がっていたのに。どうして私の方へハンドルを切ったの。身体はギリギリぶつからなかったが、本当にヒヤリと身体が震える思いをした。

我が家では、小学生の頃から、出かけるときに、毎日母が玄関で見送ってくれる。「行ってらっしゃい。気をつけて。」とどんなに忙しい時でも言いに来てくれる。小さな時にはわからなかったが、今の私にはどんな思いが込められているのか理解できる。

私は、車は日常生活に必要で、とても便利なものだと思う。それでも、運転に慣れてしまい緩んだ気持ちしていると、事故を起こしたり事故に巻き込まれたりしてしまうかもしれない。わざとでなくても、誰かが悲しい思いをするのを防がなくてはいけない。運転者は、近くにいる歩行者を、自分の家族だと思って運転してみてもどうだろうか。自分が大切に思っている人のことを考えれば、運転に責任を持てると思う。

今の私は、歩行者であるが、大人になったら車を運転する側になる。そうなったときに、自分の身勝手な行動で誰かを傷つけてしまうことがないようにしたい。

私は今日も出かけるために玄関のドアを開ける。母が言う。「行ってらっしゃい。気をつけてね。」そして私の一日が始まる。事故に遭う人が一人でも減ることを祈りながら。



交通安全標語



令和3年度 最優秀作品
豊田市交通安全市民会議会長賞

「ありがとう」 ペこりしてから わたるぼく

(令和3年度 優秀作品)

【歩行者の交通事故防止】

てをあげて 聞いて かくにん 見て かくにん

【子ども・高齢者の交通事故防止】

ぼくの手は 赤しんごうだよ 止まってね

【自転車の安全利用促進】

ヘルメット 小さな物でも 大きな役目

【ドライバーの安全運転促進】

行けるだろう 軽い考え 重い事故

【とまってくれてありがとう運動の推進】

ありがとう めとめであいさつ えがおのわ

【交通安全全般】

素敵です 見る待つゆずる 心がけ

令和3年度 交通安全ポスター最優秀作品



豊田市長賞



豊田市議会議長賞



豊田警察署長賞



足助警察署長賞



豊田市教育委員会賞



豊田市交通安全
市民会議会長賞

発行：豊田市交通安全市民会議

〒471-8501 豊田市西町3-60 南庁舎4F（豊田市交通安全防犯課内）

TEL：0565-34-6633（直通） FAX：0565-32-3794

ホームページ <https://signal.toyota.aichi.jp/> E-mail signal@city.toyota.aichi.jp

編集協力：（公財）豊田都市交通研究所

〒471-0024 豊田市元城町3-17 TEL：0565-31-7543 FAX：0565-31-9888

ホームページ <https://www.ttri.or.jp/> E-mail ttri_mail@ttri.or.jp